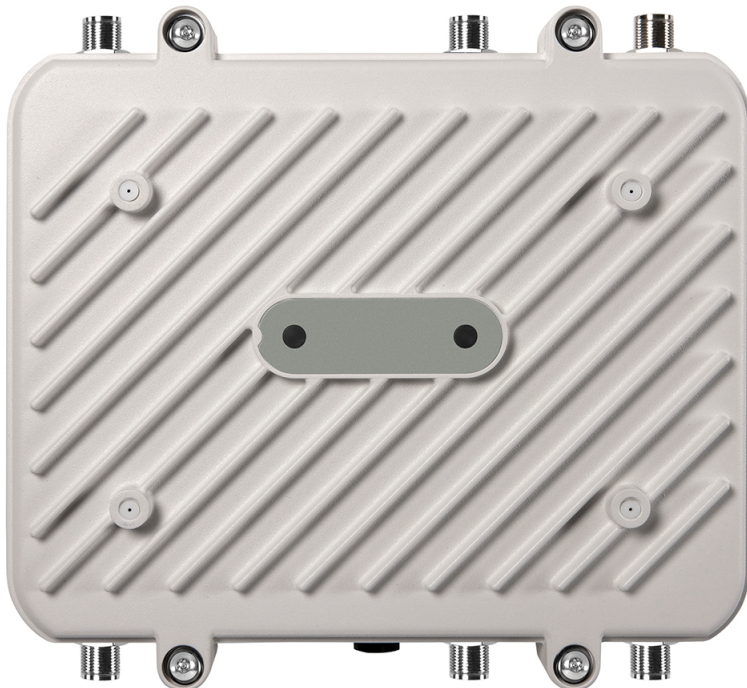


AP-7562 アクセス ポイント 設置ガイド



Zebra および Zebra ヘッド グラフィックは、ZIH Corp の登録商標です。Symbol ロゴは、Zebra Technologies の一部門である Symbol Technologies, Inc. の登録商標です。

© 2015 Symbol Technologies, Inc.

1 はじめに	5
1.1 本書での表記について	5
1.2 AP-7562 ハードウェア	6
1.3 AP-7562 アンテナ アクセサリ	6
1.3.1 AP-7562 デュアルバンド 2.4GHz/5GHz アンテナ - 米国およびカナダ	7
1.3.2 AP-7562 シングルバンド 2.4GHz アンテナ - 米国およびカナダ	7
1.3.3 AP-7562 シングルバンド 5GHz アンテナ - 米国およびカナダ	7
1.3.4 米国内の SKU に対応した屋外用上昇ゲインの設定	7
1.3.5 AP-7562 デュアルバンド 2.4GHz/5GHz アンテナ - EU	8
1.3.6 AP-7562 シングルバンド 2.4GHz アンテナ - EU	8
1.3.7 AP-7562 シングルバンド 5GHz アンテナ - EU	8
1.4 ハードウェアおよび取り付け用アクセサリ	8
1.5 AP-7562 取り付け用アクセサリ	9
1.6 AP-7562 耐候性イーサネット アクセサリ	9
1.7 パッケージの内容	10
1.8 ハードウェア設置ガイドライン	10
1.8.1 安全上の注意	11
1.8.2 警告	12
1.9 アクセス ポイントの設置	13
1.10 AP-7562 ハードウェアの概要	14
1.10.1 AP-7562 のポートおよび接続部	14
1.10.2 AP-7562 アンテナ コネクタ	15
1.10.3 アンテナの取り付けガイドライン	16
1.10.4 AP-7562 接地ポスト	17
1.11 LED インジケータ	18
2 AP-7562 のハードウェアの取り付けおよび設置	19
2.1 取り付けブラケット キット	19
2.1.1 拡張アーム キット	20
2.2 柱への取り付けによる設置	21

2.2.1 垂直な柱への取り付け.....	22
2.2.2 壁面への取り付けによる設置.....	28
2.3 PoE を使用した AP-7562 の電源オプション.....	31
3 アクセス ポイントの基本設定.....	32
4 仕様.....	44
4.1 物理特性	44
4.2 環境特性	44
4.3 電源特性	45
5 規制に関する情報	46
5.1 無線に関する各国の承認.....	46
5.2 動作周波数 - FCC および IC.....	47
5.3 Industry Canada 宣言	47
5.4 健康および安全に関する推奨事項.....	47
5.4.1 無線機器の使用に関する警告.....	47
5.4.2 危険性のある環境	47
5.5 無線周波放射に関するガイドライン	48
5.6 電源.....	49
5.7 無線電波干渉についての要件 - FCC	49
5.7.1 無線送信機 (第 15 部).....	50
5.8 無線電波干渉についての要件 - カナダ.....	50
5.9 CE マークと欧州経済地域 (EEA).....	51
5.10 準拠の宣言	51
5.11 その他の国	51
5.12 電気電子機器の廃棄処理規制 (WEEE).....	55
5.13 トルコ - 準拠に関する WEEE 声明	56
6 サポート	57
7 Symbol Technologies エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約.....	58
8 AP-7562 シリーズの ROHS 準拠.....	66

1 はじめに

屋外へのネットワークの受信範囲の拡大に対応するため、AP-7562 は厳しい屋外環境でも動作可能な、最新の 802.11ac 3x3:3 Multiple Input Multiple Output (MIMO) によるデュアル無線設計を採用しています。AP-7562 は、2.4GHz 802.11n の無線規格と 5GHz 802.11ac の無線規格を1つずつ備えた、3x3:3 802.11ac 規格のアクセス ポイントです。AP-7562 は WiNG のテクノロジー、拡張性のある QoS、セキュリティ、およびモバイル サービスにより最適化されており、容量の拡大と性能の向上をサポートします。

配置は WiNG アーキテクチャを使用して管理できます。WiNG アーキテクチャは自律型アーキテクチャと依存型アーキテクチャのうち適した方の側面を利用し、各ユーザーやアプリケーションが求める接続性、品質、セキュリティの要件を満たすスマート ネットワークを、有線ネットワークを含むネットワーク リソースの可用性に基づいて構築します。

WiNG ファームウェアを実行している WLAN または統合サービス コントローラにより認識された後は、AP-7562 は WiNG ネットワーク管理プロトコルを実行するアダプティブ AP として管理されます。WiNG によるネットワークは、アダプティブ AP が現在提供している優位性を次のレベルに高め、ネットワーク内のあらゆる地点でサービスとセキュリティを提供します。トラフィックの流れは最適化され、有線環境での混雑を防ぎます。ユーザーとアプリケーションの状況に応じてトラフィックが動的に稼働し、ネットワークの混雑地点を回避して別の経路を探し出します。WiNG 5 ネットワークは、混合メディア アプリケーションの最適化において他の追随を許しません。

1.1 本書での表記について

この文書では次の記号を使用して、注意が必要な状況を示しています。



注 注意する必要がある助言、ヒント、または特別な要件。



注意 注意が必要です。無視すると、データの消失や機器の異常動作を招く可能性があります。



警告 人体負傷や機器の破損を招く可能性のある状況や手順を示します。

1.2 AP-7562 ハードウェア

現在、AP-7562 アクセス ポイントには 3 つのモデルがあります。

モデルの部品番号	説明
AP-7562-67040-US	AP-7562 アクセス ポイント アウトドア IP67 デュアル無線規格 3x3:3 802.11 a/b/g/n/ac 無線規格 SKU: US
AP-7562-67040-EU	AP-7562 アクセス ポイント アウトドア IP67 デュアル無線規格 3x3:3 802.11 a/b/g/n/ac 無線規格 SKU: EU
AP-7562-67040-WR	AP-7562 アクセス ポイント アウトドア IP67 デュアル無線規格 3x3:3 802.11 a/b/g/n/ac 無線規格 SKU: WR



注 すべての AP-7562 アクセス ポイントには、耐候性イーサネットアダプタが 1 つ同梱されています。AP-7562 アクセス ポイントには、マウンティングキット/アンテナと POE インジェクタは同梱されていません。これらの部品は個別に注文する必要があります。

1.3 AP-7562 アンテナ アクセサリ



注 アンテナは個別に注文する必要があり、AP-7562 には同梱されていません。

AP-7562 アンテナ スイートには以下のオプションのアンテナ アクセサリが同梱されています。アンテナは AP-7562 アクセス ポイントには同梱されていないため、個別に注文する必要があります。

1.3.1 AP-7562 デュアル バンド 2.4GHz/5GHz アンテナ - 米国およびカナダ

部品番号	アンテナの種類	2.4GHz ピーク ゲイン	5.2GHz ピーク ゲイン
ML-2452-HPAG4A6-01	ダイポール アンテナ	4.0	7.3
ML-2452-HPA6X6-036	ダイポール アンテナ	4.0	7.3
ML-2452-HPA6-01	ダイポール アンテナ	5.3	6.1
ML-2452-PNA5-01R	パネル アンテナ	5.5	6.0
ML-2452-PNL3M3-1	偏波パネル アンテナ	9.7	9.2

1.3.2 AP-7562 シングル バンド 2.4GHz アンテナ - 米国およびカナダ

部品番号	アンテナの種類	2.4GHz ピーク ゲイン
ML-2499-FHPA5-01R	ダイポール アンテナ	5.3
ML-2499-HPA4-01	ダイポール アンテナ	4.5
ML-2499-5PNL-72-N	パネル アンテナ	6.5

1.3.3 AP-7562 シングル バンド 5GHz アンテナ - 米国およびカナダ

部品番号	アンテナの種類	5.2GHz ピーク ゲイン
ML-5299-HPA5-01	ダイポール アンテナ	5.6

1.3.4 米国内の SKU に対応した屋外用上昇ゲインの設定

FCC の要件に対応するため、UNII-1 のバンドでアクセス ポイントを使用する場合は、設定時にダイポール アンテナの上昇ゲインを入力する必要があります。この情報は、www.zebra.com/support の Zebra アンテナ ガイドに記載されています。

以下に 5GHz のバンドで使用可能な屋外用アンテナを示します。

インデックス	アンテナの種類	部品番号	上昇ゲイン
1	ダイポール アンテナ	ML-5299-HPA5-01	-2.53
2	ダイポール アンテナ	ML-2452-HPAG4A6-01	5.7
3	ダイポール アンテナ	ML-2452-HPA6X6-036	3.9
4	ダイポール アンテナ	ML-2452-HPA6-01	4.09

1.3.5 AP-7562 デュアルバンド 2.4GHz/5GHz アンテナ - EU

部品番号	アンテナの種類	2.4GHz ピーク ゲイン	5.2GHz ピーク ゲイン
ML-2452-HPAG5A8-01	ダイポール アンテナ	7.5	8.0
ML-2452-PNA7-01R	パネル アンテナ	8.0	12.0
ML-2452-PNL3M3-1	偏波パネル アンテナ	9.7	9.2

1.3.6 AP-7562 シングルバンド 2.4GHz アンテナ - EU

部品番号	アンテナの種類	2.4GHz ピーク ゲイン
ML-2499-FHPA9-01R	ダイポール アンテナ	10.5
ML-2499-HPA8-01	ダイポール アンテナ	8.0

1.3.7 AP-7562 シングルバンド 5GHz アンテナ - EU

部品番号	アンテナの種類	5.2GHz ピーク ゲイン
ML-5299-HPA10-01	ダイポール アンテナ	10.5
ML-5299-HPA5-01	ダイポール アンテナ	5.6

1.4 ハードウェアおよび取り付け用アクセサリ

AP-7562 は、**Power over Ethernet (PoE)** 対応デバイスです。配備する際、屋外に対応した PoE 用電源と取り付け用ブラケットが必要になる場合があります。下表に推奨される PoE 用アクセサリの一覧を示します。

部品番号	説明
AP-PSBIAS-7161-US	屋外 IP66 802.3AT ギガビットイーサネットパワーインジェクタ、AC100 ～ 240V、米国
AP-PSBIAS-7161-WW	屋外 IP66 802.3AT ギガビットイーサネットパワーインジェクタ、AC100 ～ 240V、インターナショナル
KT-153143-01	屋外用 PoE 取り付けキット

1.5 AP-7562 取り付け用アクセサリ

AP-7562 には、フレキシブルな 3 ピース取り付けキット (KT-147407-01) と、オプションのポール取り付け用スタンドオフ拡張アーム (KT-150173-01) が付属しています。

部品番号	説明
KT-147407-01	ハードウェア取り付けキット
KT-150173-01	取り付けキット用 12 インチ (30cm) 拡張アーム

1.6 AP-7562 耐候性イーサネット アクセサリ

AP-7562 アクセス ポイントには、それぞれ RJ45 耐候性コネクタ プラグが 1 つ同梱されています。追加のプラグが必要な場合は、下表の部品番号により注文することができます。

部品番号	説明
KT-153676-01	RJ45 耐候性コネクタ プラグ



注意 RJ45 ケーブルを接続する際は、すべてのケーブルを下からアクセス ポイントに接続し、ドリップループを 1 つ作って水分の浸入を防止してください。イーサネット ケーブルは自己補修型防水テープで覆ってください。

ケーブルでドリップループを作る正しい手順については、RJ45 耐候性コネクタ プラグに同梱されている設置説明書を参照してください。

1.7 パッケージの内容

AP-7562 アクセス ポイントを包んでいるすべての保護材を慎重に取り除き、梱包箱を保管してください。6 ページの「AP-7562 ハードウェア」を参照し、AP-7562 のすべてのハードウェアが入っていることを確認してください。保証の請求に備えて発送用段ボール箱と AP-7562 のシリアル番号を記録し、ソフトウェアのダウンロード時に照合してください。



注 保証の請求に備えて発送用段ボール箱と AP-7562 アクセス ポイントのシリアル番号を記録し、ソフトウェアのダウンロード時に照合してください。

発送用段ボール箱を開く際、機器に損傷がないか点検してください。機器が損傷または不足している場合は、直ちにサポートにお問い合わせください。

AP-7562 アクセス ポイント (6 ページの「AP-7562 ハードウェア」参照) にはそれぞれ以下の部品が同梱されています。

- AP-7562 アクセス ポイント
- 耐候性 RJ45 プラグ キット
- **AP-7562 アクセス ポイント設置ガイド** (本書)

1.8 ハードウェア設置ガイドライン



注意 すべてのデバイスは、**National Electric Code (NEC)** または配備する国や地域の規制機関が発行している法令あるいは手順に従って使用する必要があります。現地の建物および構造物に関するすべての規制を遵守してください。



警告 AP-7562 アクセス ポイントを設置する際は、安全上の注意と警告を厳守してください。

1.8.1 安全上の注意

AP-7562 アクセス ポイントを設置する前に、以下の接地および落雷防止のガイドラインを確認してください。

- 設置担当者は、接地に関するすべての要件と現地の規制を熟知し、アクセス ポイントと取り付け器具が正しく接地されていることを確認する必要があります。AP-7562 の接地用ケーブルには、**必ず** #10 以上のゲージ ワイヤ断面を持つものを使用してください。以下のいずれかの方法により、ケーブルをユニットに取り付けることができます。
 - 接地用ねじを緩め、接地用ケーブルをその下の穴に挿入し、ねじを締め付けます。
 - 接地用ねじを緩め、接地用ケーブルをその周りに巻き、ねじを締め付けます。
 - 接地用ケーブルにリング ラグを取り付け、これを接地用ねじによりユニットに固定します。
- 接地用ケーブルをアクセス ポイントに正しく取り付けする方法については、[17 ページの「AP-7562 接地ポスト」](#)を参照してください。
- イーサネットの保護と落雷防止のため、市販の **Lightning Protection Unit (LPU)** をすべての CAT5E イーサネット シールド接続部に使用することを推奨します。LPU は屋外での使用に対応しているものを使用してください。
 - 保護の効果を最大限に高めるには、LPU を各アクセス ポイントに隣接させて設置する必要があります。屋内のネットワークへの LAN 接続部がある場合は、その建物へのケーブルの入口に別の LPU を設置してください。



注意 標準の製品保証条件では、落雷による損傷は保証範囲に含まれていません。**Lightning Protection Units (LPU)** を正しく設置すれば、落雷による障害から最大限の保護を得ることができます。落雷防止に関する現地および国のすべての規制を遵守してください。

- 配備先の環境温度の範囲が、デバイスの動作温度範囲と適合していることを確認してください。

1.8.2 警告

- 設置手順とサイト サーベイ レポートをすべて読み、機器が正しく設置されていることを確認してから、アクセス ポイントを電源につないでください。
- 機器の設置に取り掛かる前に、貴金属や腕時計を外してください。
- ユニットを電源につなぐ前に、ユニットが接地されていることを確認してください。
- 本ユニットに接続するすべてのデバイスが、正しく配線および接地されていることを確認してください。
- 正しく配線および接地されている電気回路にすべての電源コードを接続してください。電気回路に適切な過負荷保護装置があることを確認してください。
- 認可された電源コードのみをデバイスに接続してください。
- 機器の操作中に常に手が届く位置に電源コネクタとソケットがあることを確認してください。
- 送信中は、無線機器を含む部品を身体の露出部、特に顔や目に近づけたり接触させないようにしてください。
- 電気回路を薄暗い場所で行わないでください。
- 雷雨のように過電流が発生する可能性のある気象条件では、機器の設置や電気回路の操作を行わないでください。
- 機器周辺が適切に換気されていることと、周辺温度が機器の動作仕様に適合していることを確認してください。
- 頭上の電線に接触しないようにしてください。
- 工具や機器の落下による怪我をしないように注意してください。設置作業場所の中と周辺では、作業員はヘルメットを着用してください。
- 設置作業場所の中と周辺では、車両の交通に注意してください。
- シールドされていない雷管の近くや爆発物がある環境では、特別に認可されていない限り、携帯型のトランスミッタを使用しないでください。
- 各配備作業の特有の要件については、サイト サーベイとネットワーク分析レポートを参照してください。
- 設置の役割を適切な担当者に割り当ててください。
- すべての設置済み部品の場所を特定し、文書化してください。
- イーサネットとコンソール ポートの接続部を確認し、準備してください。
- ケーブルの長さが、信号を的確に転送できる最大許容距離を超えないようにしてください。



注意 PoE 用ケーブルの最大許容長さは 100 メートルです。



注意 RJ45 ケーブルを接続する際は、すべてのケーブルを下からアクセス ポイントに接続し、ドリップ ループを1つ作って水分の浸入を防止してください。

1.9 アクセス ポイントの設置

以下の推奨ガイドラインに従ってください。

- 取り付け用ブラケット、取り付け用拡張アームのハードウェアと付属ハードウェアを1個ずつ確認してください。
- 黒の Gore ベントを下に向けて、デバイスを取り付けてください。



- ネットワーク デバイスの取り付け高さが9 ~ 11m (30 ~ 35 フィート) を超えないようにしてください。取り付け高さは、配備場所の地形、木の葉等の障害物に合わせて変更する必要があります。
- 推奨されている屋外配備手順によりデバイスを配備することができます。
- デバイスを配備する際は、**Line of Sight (LoS)** のガイドラインについて特に考慮する必要があります。

1.10 AP-7562 ハードウェアの概要

AP-7562 は、2.4GHz 802.11n の無線規格と 5GHz 802.11ac の無線規格を 1 つずつ備えた、3x3:3 802.11ac 規格のアクセスポイントです。

AP-7562 の設置は、デバイスを配備する国の規制機関が指定する RF プランニングと制限を熟知し、訓練を受けたプロの作業員が行う必要があります。配備および設置作業中は、接地に関するすべての注意事項と **Electrostatic Discharge (ESD)** の保護要件を遵守する必要があります。デバイスの動作による有害な干渉が発生しないように AP-7562 アクセスポイントを設置してください。

1.10.1 AP-7562 のポートおよび接続部

AP-7562 アクセスポイントには以下のポートがあります。

- アンテナポート R1-A、B および C、R2-A、B および C
- コンソールポート
- GE1/POE - LAN ポート
- GE2 - WAN ポート

1.10.2 AP-7562 アンテナ コネクタ

AP-7562 アクセス ポイント (AP-7562-67040-US、AP-7562-67040-EU および AP-7562-67040-WR) は、6 個の N タイプ コネクタで構成されており、2 つのアクティブな WLAN データ通信をサポートしています。



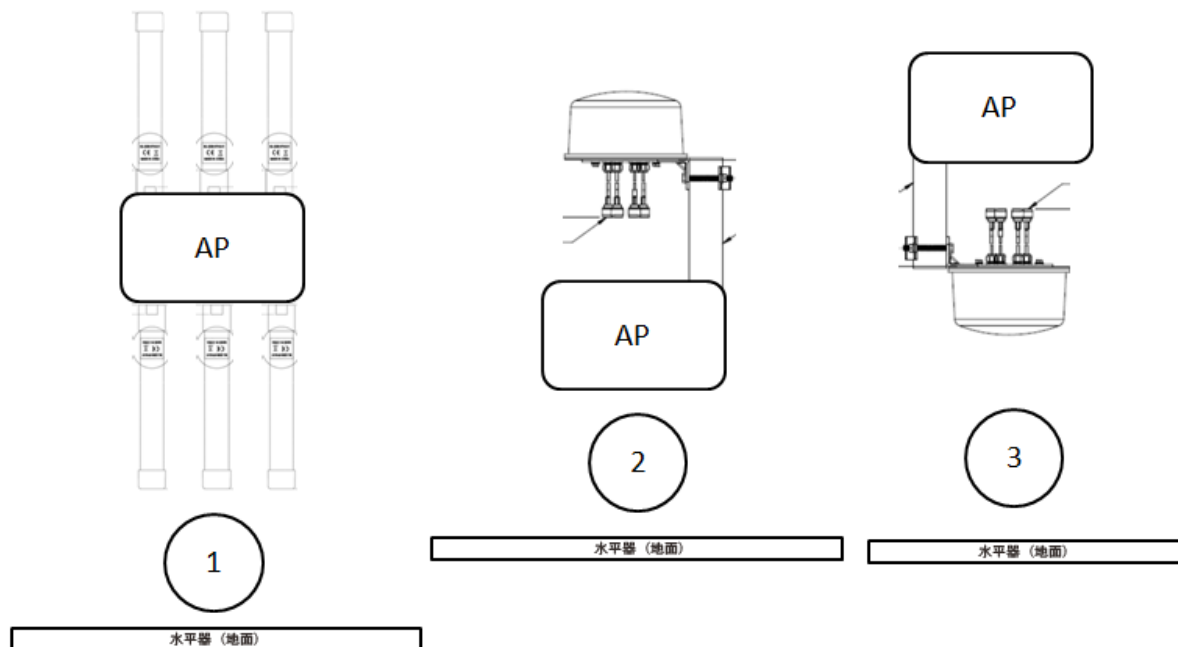
警告 アンテナが設置されないアンテナ ポートは、承認された IP67 ターミネータを使用して正しく終端する必要があります。



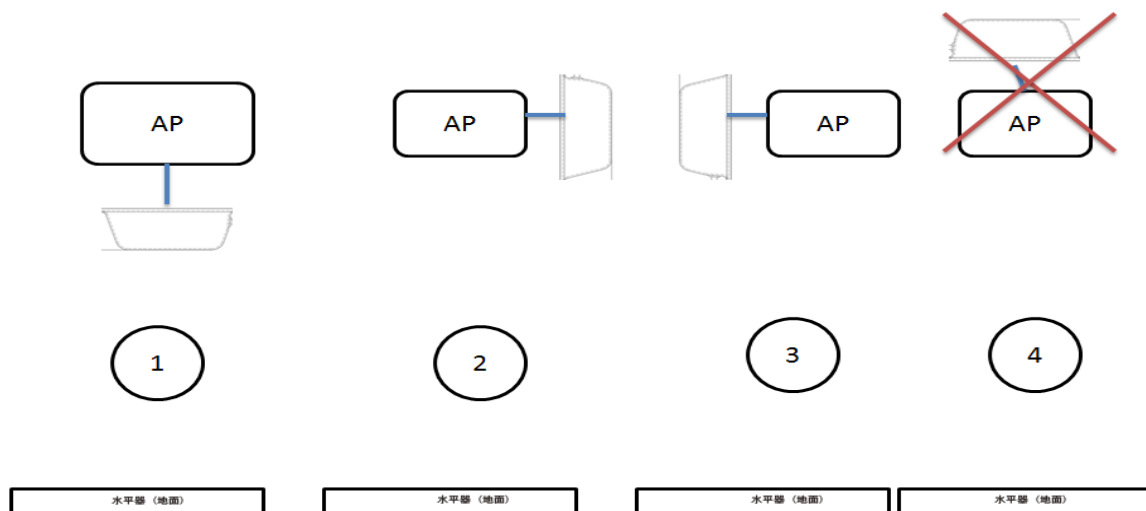
警告 すべてのアンテナ コネクタを耐候性テープで覆ってください。

1.10.3 アンテナの取り付けガイドライン

許容されるダイポール アンテナの取り付け例を以下に示します。



許容されるパネル アンテナの取り付け例を以下に示します。



1.10.4 AP-7562 接地ポスト

接地ポストは、アクセス ポイント底部の GND マークの上にあります。



警告 AP-7562 の接地用ケーブルには、必ず #10 以上のゲージ ワイヤ断面を持つものを使用してください。

以下のいずれかの方法により、接地ケーブルをユニットに取り付けることができます。

- 接地用ねじを使用して接地用ケーブルを接地ポストに確実に取り付けます。8mm ソケットとドライバを使用して、接地用ねじを 30 インチ ポンド (lbf-in) で締め付けます。
- リング ラグを接地用ケーブルに取り付け、接地用ねじを使用してリング ラグをアクセス ポイントに確実に取り付けます。8mm ソケットとドライバを使用して、接地用ねじを 30 インチ ポンド (lbf-in) で締め付けます。

1.11 LED インジケータ

AP-7562 アクセスポイントには、筐体前面にLED 動作確認インジケータがあります。これらのLED は、エラー条件、伝送、およびネットワークの動作の状態を 2.4GHz (緑) と 5GHz (オレンジ) で示します。

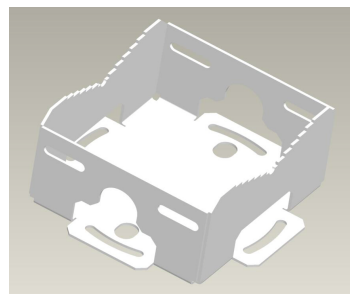
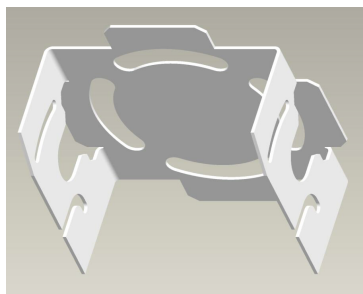
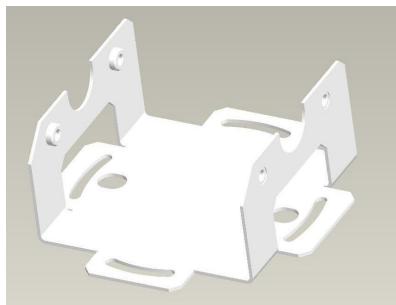
タスク	2.4GHz 動作確認 LED (緑)	5GHz 動作確認 LED (オレンジ)
未設定の無線	オン	オン
通常動作	- この無線帯域が有効な場合 : 5 秒間隔で点滅 - この無線帯域が無効な場合 : オフ - この帯域で動作している場合 : 1 秒に 1 回の間隔で点滅	- この無線帯域が有効な場合 : 5 秒間隔で点滅 - この無線帯域が無効な場合 : オフ - この帯域で動作している場合 : 1 秒に 1 回の間隔で点滅
ファームウェアの更新	オフ	オン
AP モードの特定	LED は不規則な点滅間隔で、緑、赤、オレンジと切り替わりながら点滅します。この LED の状態は、通常の稼働状況とは完全に異なるものです。	LED は不規則な点滅間隔で、緑、赤、オレンジと切り替わりながら点滅します。この LED の状態は、通常の稼働状況とは完全に異なるものです。

2 AP-7562 のハードウェアの取り付けおよび設置

ほぼすべての配備条件で、AP-7562 取り付けブラケットキット (KT-147407-01) を使用することを推奨します。柱や壁に取り付けて設置するために距離を離す必要があれば、拡張アームキット (KT-150173-01) を使用してください。

2.1 取り付けブラケットキット

AP-7562 取り付けブラケットキット (KT-147407-01) には、アクセス ポイント ブラケット (左)、アングル アダプタ ブラケット (中央)、およびポール マウント ブラケット (右) が同梱されています。



アクセス ポイント ブラケットとアングル アダプタ ブラケットは回転 (+/- 15 度) およびチルト (最大 45 度) させて最適な位置にユニットの方向を変えることができます。

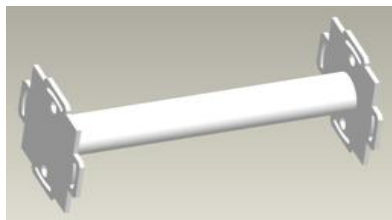
キットには、取り付けブラケットを組み立てるため以下の付属ハードウェアが同梱されています。

説明	数量
M6 鋸歯状フランジ付き六角ボルト	7
1/2 インチ六角ナット	2
1/2 インチ x 3/4 インチ六角ボルト	2

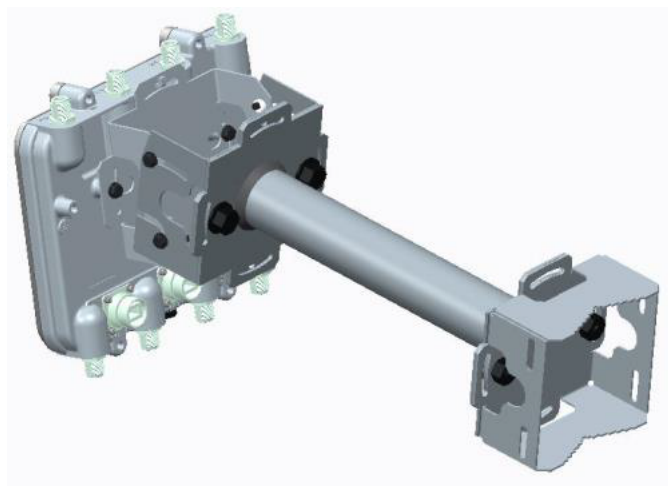
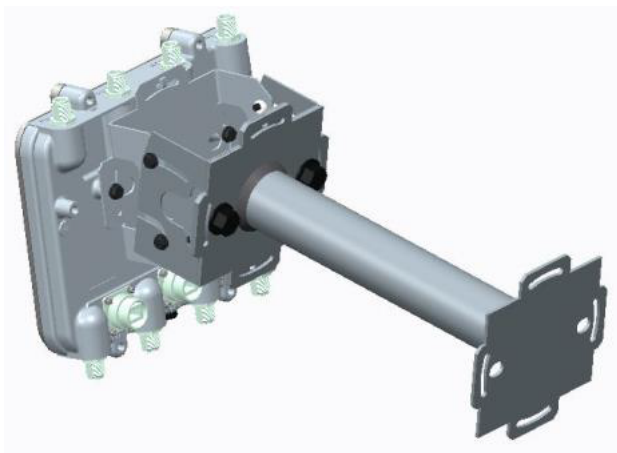
取り付けブラケットの組み立てには、10mm のアダプタを持つトルク レンチまたはラチェット、または自在レンチを使用することができます。

2.1.1 拡張アーム キット

直径 7cm 以上の柱に AP-7562 を取り付ける場合は、拡張アーム キット (KT-150173-01) を使用して 30cm 以上離し、アンテナとの干渉を防いでください。



拡張アーム キットは取り付けブラケット キットのすべてのブラケットと組み合わせて使用することもできます。



拡張アームを取り付けブラケット キットに取り付けるための付属ハードウェアが拡張アーム キットに同梱されています。

説明	数量
1/2 インチ六角ナット	2
1/2 インチ x 3/4 インチ六角ボルト	2

2.2 柱への取り付けによる設置

AP-7562 を柱に適切に取り付けるため、取り付けハードウェア キットと拡張アームを組み合わせて使用できます。直径 7cm 以下の柱には、幅が 3/4 インチ以下のバンド クランプ、または幅が 1/2 インチ x 4 インチの U ボルトとナットを使用して、取り付けハードウェア キットのポール マウント ブラケットを柱の希望する位置に取り付けます。直径が 7cm を超える柱には、バンド クランプを使用してポール マウント ブラケットを取り付けます。



注意 黒の Gore ベントを必ず下に向けて AP-7562 を取り付けてください。



注 取り付けブラケット キットには U ボルトとバンド クランプは同梱されていません。



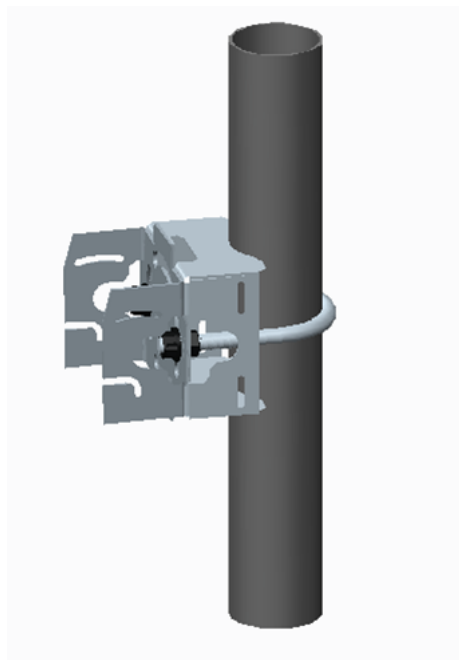
注 直径が 7cm を超える柱に設置する場合は、拡張アームを使用することを推奨します。

2.2.1 垂直な柱への取り付け

垂直な柱への設置では以下の手順に従ってください。直径 7cm を超える柱にアクセス ポイントを取り付ける場合は、拡張アームを使用することを推奨します。

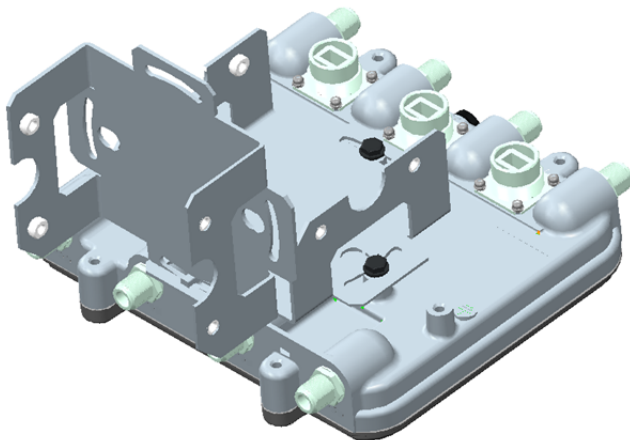
U ボルトを使用して直径 7cm 以下の柱に設置する場合

1. U ボルトに 1/2 インチ ナット 2 個を取り付けます。
2. 柱に U ボルトを位置決めし、U ボルトにポール マウント ブラケットを配置します。柱にポール マウント ブラケットが当たり、希望する取り付け位置で U ボルトが柱に確実に締め付けられるように内側の 1/2 インチ ナット 2 個を調整します。

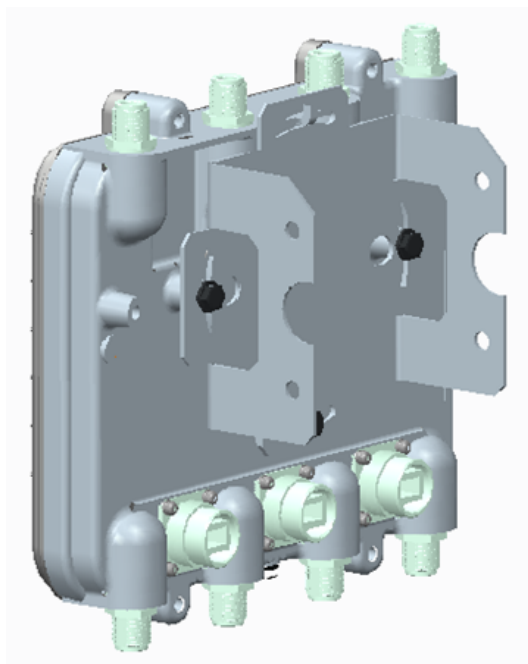


3. アングル アダプタ ブラケットの開口スロット接続部を下側にして U ボルトに配置し、ポール マウントと揃えます。1/2 インチ ナット 2 個で取り付けます。すべてのナットを 300 インチ ポンド (lbf-in) で締め付けます。

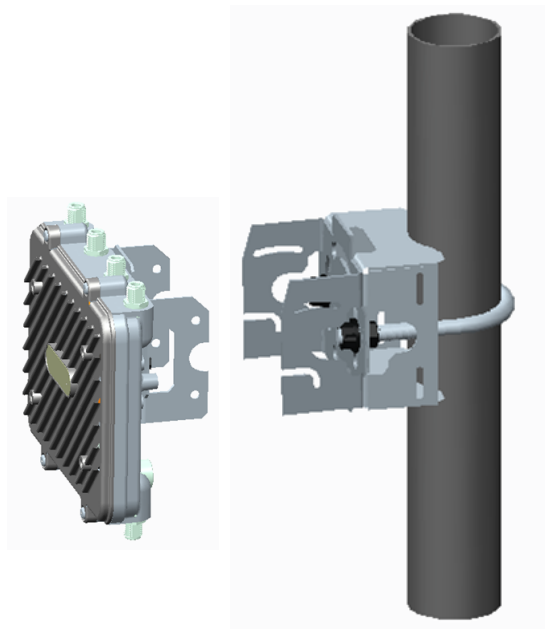
4. 真直側 (ベベル カットされていない方) の下部が Gore ベントがあるアクセス ポイントの底部に向くように、アクセス ポイント ブラケットを位置決めします。トルク レンチまたはラチェットと 10mm ソケット、または自在レンチを使用して、アクセス ポイント ブラケットを M6 フランジ ボルト 4 個で AP-7562 に締め付けずに取り付けます。



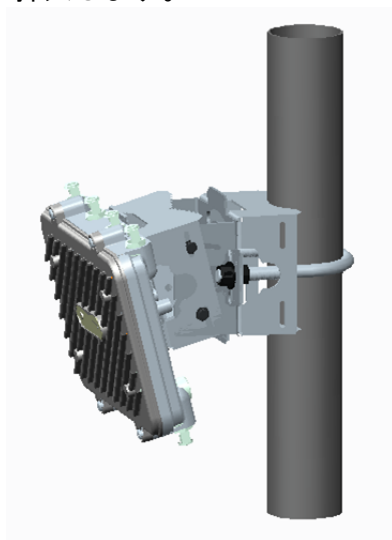
5. M6 六角フランジ ボルト 2 個をアクセス ポイント ブラケットの側面の下側の穴に挿入します。



6. Gore ベントを下に向けてアクセス ポイントを位置決めした状態で、アクセス ポイント ブラケットの側面の下側の穴に挿入した M6 六角フランジ ボルト 2 個を、アングル アダプタ ブラケットの底部の開口スロット接続部に挿入します。



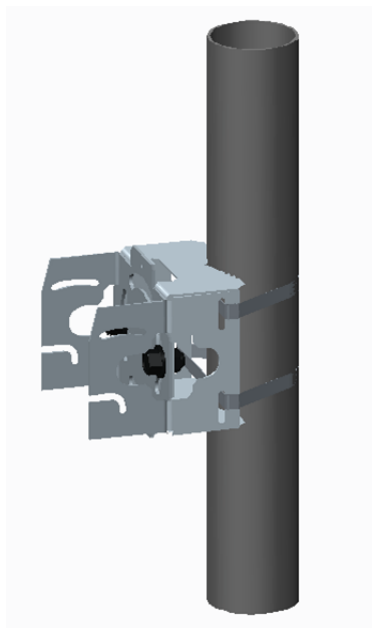
7. アクセス ポイント ブラケットを上回転させ、側面上側の穴をアングル アダプタ ブラケットの上側の穴と揃えます。M6 六角フランジ ボルト 2 個をアングル アダプタ ブラケットの上側の穴に挿入します。



8. トルク レンチまたはラチェットと 10mm ソケット、または自在レンチを使用して、開口スロット接続部とアングルアダプタ ブラケットの上側の穴の M6 六角フランジ ボルトでアクセス ポイント ブラケットをアングル アダプタ ブラケットに取り付けます。回転とチルトの調整がすべて完了するまでボルトを締め付けしないでください。
9. アクセス ポイント ブラケットを回し (+/- 15 度)、アングル アダプタ ブラケットを傾けて (最大 45 度)、アクセス ポイントの位置を調整します。
10. 60 インチ ポンド (lbf-in) で、すべての六角フランジ ボルトを締め付けます。

バンド クランプを使用して取り付ける場合

1. バンド クランプを使用して、希望する取り付け位置にポール マウント ブラケットを取り付けます。

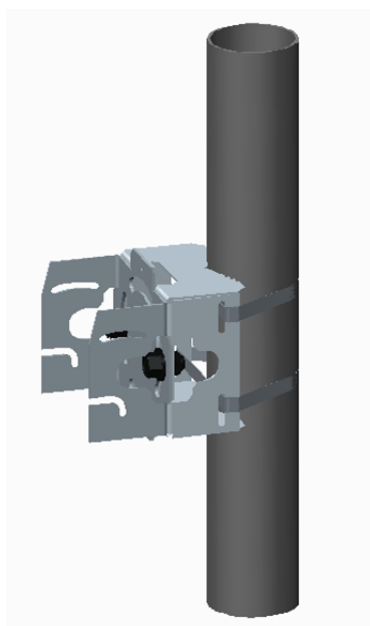


2. 開口コネクタ スロットが下になるようにアングルアダプタ ブラケットを位置決めし、1/2 インチのボルトとナット 2 個でアングルアダプタ ブラケットをポール マウント ブラケットに取り付けます。ナットを 300 インチ ポンド (lbf-in) で締め付けます。
3. 真直側 (ベベル カットされていない方) の下部が Gore ベントがあるアクセス ポイントの底部に向くように、アクセス ポイント ブラケットを位置決めします。トルク レンチまたはラチェットと 10mm ソケット、または自在レンチを使用して、アクセス ポイント ブラケットを M6 六角フランジ ボルト 4 個で AP-7562 に締め付けずに取り付けます。
4. M6 六角フランジ ボルト 2 個をアクセス ポイント ブラケットの側面の下側の穴に挿入します。

5. Gore ベントを下に向けてアクセス ポイントを位置決めした状態で、アクセス ポイント ブラケットの側面の下側の穴に挿入した M6 六角フランジ ボルト 2 個を、アングル アダプタ ブラケットの底部の開口スロット接続部に挿入します。
6. アクセス ポイント ブラケットを上回転させ、側面の上側の穴をアングル アダプタ ブラケットの上部の穴と揃えます。M6 六角フランジ ボルト 2 個をアングル アダプタ ブラケットの上側の穴に挿入します。トルク レンチまたはラチェットと 10mm ソケット、または自在レンチを使用して、開口スロット接続部とアングル アダプタ ブラケットの上側の穴の M6 六角フランジ ボルトでアクセス ポイント ブラケットをアングル アダプタ ブラケットに取り付けます。回転とチルトの調整がすべて完了するまでボルトを締め付けしないでください。
7. アクセス ポイント ブラケットを回し (+/- 15 度)、アングル アダプタ ブラケットを傾けて (最大 45 度)、アクセス ポイントの位置を調整します。
8. 60 インチ ポンド (lbf-in) で、すべての六角フランジ ボルトを締め付けます。

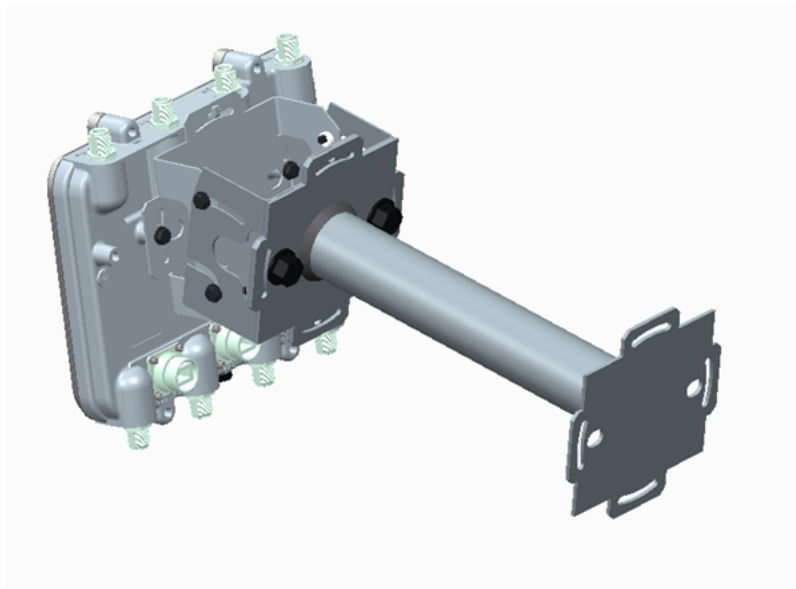
取り付けハードウェアキットと拡張アームを使用する場合

1. U ボルトまたはバンド クランプを使用して、希望する取り付け位置にポール マウントを取り付けます。

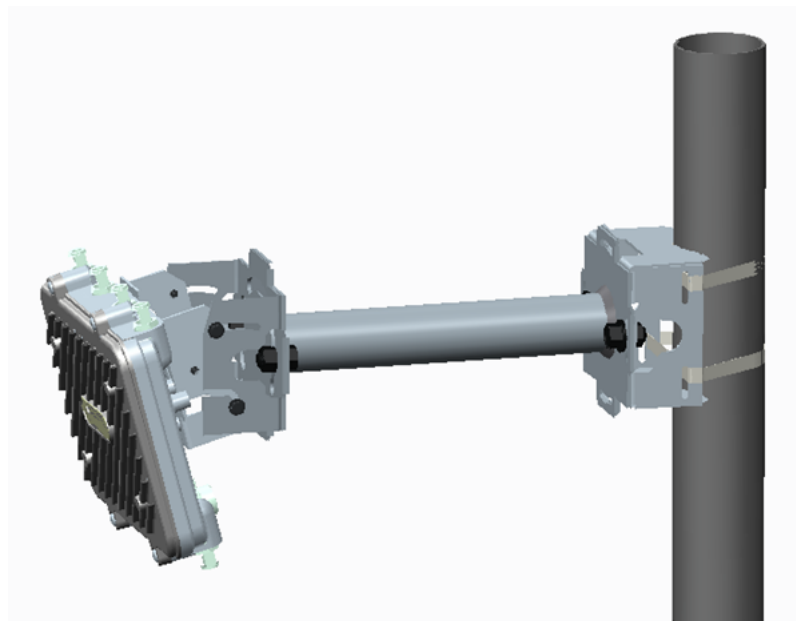


2. 7cm 以下または 7cm を超える柱に取り付けブラケットを組み付けて位置決めする手順を完了します。[22 ページの「垂直な柱への取り付け」](#)を参照してください。

3. トルク レンチまたはラチェットと 10mm ソケット、または自在レンチを使用して、拡張アームを M6 六角フランジ ボルト 4 個でアクセス ポイントに取り付けます。楕円形の 2 つの穴は、アクセス ポイントの短い方に位置決めする必要があります。60 インチ ポンド (lbf-in) で、六角フランジ ボルトを締め付けます。



4. アクセス ポイントを Gore ベントを下に向けた状態にし、拡張アームを 1/2 インチのボルトとナット 2 個でアクセス ポイント ブラケットに取り付けます。ナットを 300 インチ ポンド (lbf-in) で締め付けます。



2.2.2 壁面への取り付けによる設置

壁面への取り付けによる設置では、アクセス ポイント ブラケットとアングル調整ブラケットを必要な場合にのみ使用してください。



注意 黒の Gore ベントを必ず下に向けて AP-7562 を取り付けてください。

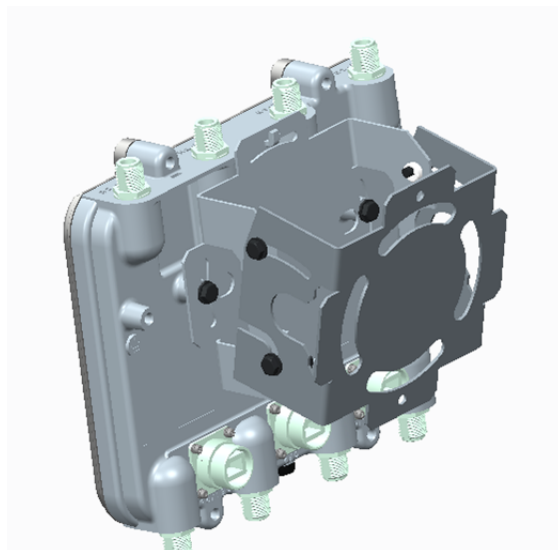


注 取り付けブラケット キットには U ボルトとバンド クランプは同梱されていません。



注 取り付けブラケット キットには ラグ ボルトは同梱されていません。

1. 開口スロット接続部を下に向けた状態で、アングル調整ブラケットを #10/32 ラグ ボルト 4 個で希望する取り付け位置に取り付けます。
2. トルク レンチまたはラチェットと 10mm ソケット、または自在レンチを使用して、アクセス ポイント ブラケットを M6 六角フランジ ボルト 4 個で AP-7562 に締め付けずに取り付け、M6 六角フランジ ボルト 2 個をアクセス ポイント ブラケットの側面の下側の穴に挿入します。

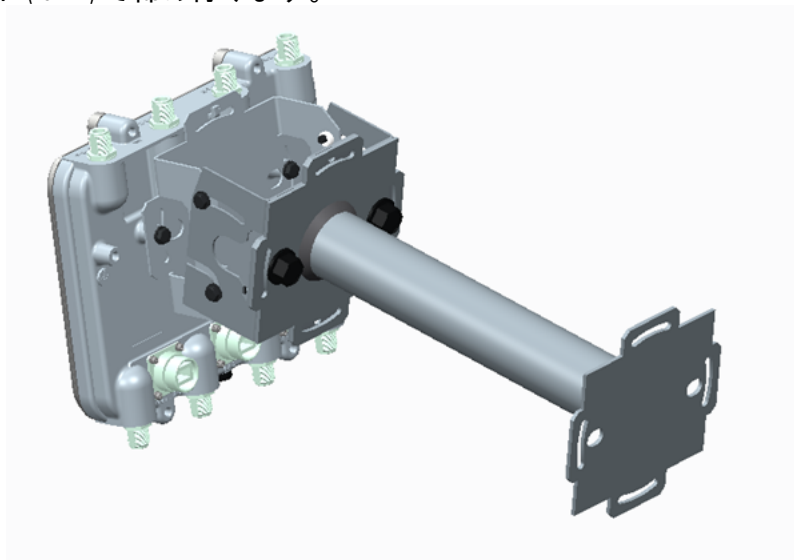


3. Gore ベントを下に向けてアクセス ポイントを位置決めした状態で、アクセス ポイント ブラケットの側面の下側の穴に挿入した M6 六角フランジ ボルト 2 個を、アングル アダプタ ブラケットの底部の開口スロット接続部に挿入します。アクセス ポイント ブラケットを上回転させ、側面の上側の穴をアングル アダプタ ブラケットの上部の穴と揃えます。M6 六角フランジ ボルト 2 個をアングル アダプタ ブラケットの上側の穴に挿入します。
4. トルク レンチまたはラチェットと 10mm ソケット、または自在レンチを使用して、開口スロット接続部とアングル アダプタ ブラケットの上側の穴の M6 六角フランジ ボルト 4 個でアングル アダプタ ブラケットをアクセス ポイント ブラケットに取り付けます。回転とチルトの調整がすべて完了するまでボルトを締め付けしないでください。
5. アクセス ポイント ブラケットを回し (+/- 15 度)、アングル アダプタ ブラケットを傾けて (最大 45 度)、アクセス ポイントの位置を調整します。
6. すべての調整が完了したら、トルク レンチまたはラチェットと 10mm ソケット、または自在レンチを使用してすべてのボルトを締め付けます。
7. 60 インチ ポンド (lbf-in) で、すべての六角フランジ ボルトを締め付けます。

取り付けハードウェアキットと拡張アームを使用する場合

1. 開口スロット接続部を下に向けた状態で、アングル調整ブラケットを #10/32 ラグ ボルト 4 個で希望する取り付け位置に取り付けます。
2. 上述のアングル アダプタ ブラケットとアクセス ポイント ブラケットの組み付けと位置決めの手順を完了します。22 ページの「垂直な柱への取り付け」を参照してください。

3. アクセス ポイントを Gore ベントを下に向けた状態にし、拡張アームを $\frac{1}{2}$ インチのボルトとナット 2 個でアクセス ポイント ブラケットに取り付けます。ボルトを 300 インチ ポンド (lbf-in) で締め付けます。



2.3 PoE を使用した AP-7562 の電源オプション

Power over Ethernet (PoE) は AP-7562 アクセス ポイントの電力源となります。最適な性能を得るため、AP-7562 を 802.AT PoE をサポートする以下のインジェクタおよび RFS コントローラにより給電することができます。

屋外用 PoE インジェクタを要する設置の場合は、以下のオプションを使用することを推奨します。

- AP-PSBIAS-7161-US
- AP-PSBIAS-7161-WW

AP-PSBIAS-7161 は 1 ポートの 802.3at PoE ギガビットイーサネットインジェクタです。このインジェクタは、耐候性キットとともに使用することにより、屋外配備時に IP66 等級の性能が得られます。

2 種類の電源コードのオプションが用意されています。AP-PSBIAS-7161-US には、標準のピン型電源プラグを持つケーブルが装備されています。このプラグは、交流電源に接続する場合に、設置者が取り外すこともできます。AP-PSBIAS-7161-WW には、オープンリード線を持つケーブルが装備されています。取り付けキットは付属していません (取り付けキットの部品番号は [8 ページ](#)の「ハードウェアおよび取り付け用アクセサリ」を参照)。



注 製品の設置および取り付け手順書は、屋外用電源インジェクタに同梱されています。

コントローラから 100 メートル以内に設置され、PoE ポートが使用できる場合は、AP-7562 アクセス ポイントを WiNG 5.6 以降で動作する WLAN または統合サービス コントローラに直接接続することもできます。

標準の CAT5E ケーブルを使用して、AP-7562 に接続することができます。AP-7562 の GE1/POE ポートは、標準の CAT5E ケーブルでアクセス ポイントに接続する場所であり、ユニットに同梱されている耐候性 RJ45 プラグ キットを使用することにより、イーサネット ポートの屋外設置用の耐候性シールを維持することができます。

CAT5E ケーブルを使用して建物の出口を経由してアクセス ポイントを RFS コントローラに接続する場合は、適切な落雷保護システムの使用を検討する必要があります。適切なシステムについては専門的知識を有する設置担当者にご相談ください。

3 アクセスポイントの基本設定

アクセスポイントを設置して電源を投入した後、以下の手順を完了してデバイスを起動し、管理機能にアクセスします。

1. アクセスポイントから 802.3af 準拠の電源を持つコントローラにイーサネットケーブルを取り付け、AP-7562 に電力を供給します (ケーブル接続後)。

ホストシステムが DHCP サーバーである場合は、IP アドレスが AP-7162 に自動的に割り当てられ、デバイスの接続に使用できるようになります。ただし、DHCP サーバーが使用不可の場合は、アクセスポイントの MAC アドレスから IP アドレスを割り出す必要があります。この方法を使用する場合は、MAC アドレスの最後の 2 バイトが IP アドレスの最後の 2 オクテットになります。例：

MAC アドレス - 00:C0:23:00:F0:0A ゼロ構成 IP アドレス - 169.254.240.10

MAC アドレスを使ってアクセスポイントの IP アドレスを取得するには

- a. [スタート]>[すべてのプログラム]>[アクセサリ]>[電卓]を選択し、Windows の電卓を開きます。このメニューパスは、Windows のバージョンによって多少異なる場合があります。
- b. 電卓が表示された状態で、[表示]>[プログラマ]を選択します。[16進]ラジオボタンを選択します。
- c. アクセスポイントの MAC アドレスを、16 進数表記で 1 バイト分入力します。(例：F0)

2. **[10 進]** ラジオ ボタンを選択します。電卓によって F0 が 240 に変換されます。この手順を最後のアクセス ポイントの MAC アドレスのオクテットについて繰り返します。ウェブ ブラウザにアクセス ポイントの IP アドレスを指定します。次のログイン画面が表示されます。



The image shows a login interface with a blue background. It contains three input fields: 'Username' with a white text box, 'Password' with a white text box, and 'Language' with a dropdown menu currently set to 'English'. Below these fields are two blue buttons labeled 'Login' and 'Reset'.

3. **[Username]** フィールドに、既定のユーザー名である「**admin**」を入力します。
4. **[Password]** フィールドに、既定のパスワードである「**admin123**」を入力します。
5. **[Login]** ボタンをクリックして管理インタフェースを読み込みます。



注

初めてログインする場合、以降のログイン時にデバイスの安全性を強化するために、パスワードの変更を促すプロンプト画面が表示されます。



注

ウィザードを実行する際に接続が切断された場合は、(一度取得した) アクセス ポイントの実 IP アドレスを使って再接続し、ウィザードを再開できます。

6. 初めて管理インタフェースにアクセスする場合は、[Initial Setup Wizard] が自動的に表示されます。



Function Highlight

- Access Point Types: Virtual Controller AP, Standalone AP, or Dependent AP
- Networking Mode: Bridge or Router Operation
- LAN Configuration
- Radio Configuration
- WAN Configuration
- Wireless LAN Setup
- Location, Country Code, Time Zone, Date and Time
- Summary and Save/Commit

Choose One Type to Setup the Access Point

- ☒ Typical Setup (Recommended)
 - The wizard uses as many default parameters as possible to simplify the configuration process.
- ☐ Advanced Setup
 - With this selection, you may configure the access point's LAN, WAN, Radio Mapping, Radius Server, WLAN, etc.

[Introduction] 画面には、ウィザードを使って実行可能なさまざまなアクションが、**[Function Highlight]** フィールドの下に表示されます。

[Choose One type to Setup the Access Point] フィールドオプションを使って、実行するウィザードの種類を選択します。**[Typical Setup]** が推奨されているウィザードです。本ウィザードは、設定変数のほとんどにおいて既定の変数を使用し、最小の手動設定で機能するネットワークをセットアップします。

[Advanced Setup] ウィザードは、さまざまな設定変数の手動管理を増やしたい管理者向けです。**[Advanced Setup]** ウィザードが使用される場合、さらに数画面の設定画面で設定が可能になります。

[Initial Setup Wizard] の最初のページには、アクセス ポイントの初期セットアップを構成する設定のために、**[Navigation Panel]** および **[Function Highlights]** が表示されます。本ページには、ウィザードの通常モードまたは応用モードを選択できるオプションも表示されます。

[Typical Setup Wizard] 用の [Navigation Panel] には、基本的な設定オプションが表示されます。



[Navigation Panel] の項目の左にある緑のチェックマークは、必要最低限の設定項目が正しく設定されていることを示します。赤いXは、少なくとも1つの変数を正しく定義する必要があることを示します。

7. 各ページ内にある **[Save/Commit]** を選択して、そのページの設定になされた更新を保存します。**[Next]** を選択して [Navigation Panel] に記載された次のページに進むと、更新は保存されません。



注 ナビゲーションパネルから任意のページに移動できますが、[Navigation Panel] の各タスクに緑のチェックマークが付くまで、[Initial AP Setup Wizard] を完了することはできません。

本ガイドの目的のためには、**[Typical Setup (Recommended)]** オプションを使用して、アクセスポイントの既定の設定に対する変更を最小化することで、アクセスポイントをすばやく稼働させるプロセスを簡略化します。

アクセスポイントの [Advanced Setup] オプションについては、『WiNG Access Point System Reference Guide』を参照して、WiNG オペレーティングシステムがサポートする機能一式になじむようにしてください。このガイドは、www.zebra.com/support から入手することができます。

[Typical Setup Wizard] を使ってアクセスポイントを設定するには

8. [Initial Setup Wizard] の **[Choose One type to Setup the Access Point]** フィールドで、**[Typical Setup]** を選択します。

9. [Typical Setup Wizard] には、アクセス ポイントの [Standalone] と [Virtual Controller AP] 機能を定義するために、**[Access Point Settings]** 画面が表示されます。本画面ではまた、アクセス ポイントを稼働させる国を選択できます。



Access Point Type Selection

- ☐ Virtual Controller AP - When more than one access point is deployed, a single access point can function as a Virtual Controller AP and manage Dependent mode access points. The Virtual Controller AP can adopt and configure other like APs in a 24-cell deployment.
- ☒ Standalone AP - Select this option to deploy this access point as an autonomous "fat" access point. A standalone AP isn't managed by a Virtual Controller AP, or adopted by a controller.

Country

Choose a Country Code



10. 以下のオプションから、**[Access Point Type]** を選択します。

- **[Virtual Controller AP]** - 1 台以上のアクセス ポイントが配備されている場合、単一のアクセス ポイントは仮想コントローラ AP として機能することができます。最大 24 のアクセス ポイントを、同一のアクセス ポイントのタイプである単一の仮想コントローラ AP に接続して、管理させることができます。接続されるこれらのアクセス ポイントは、仮想コントローラ AP と同一のタイプである必要があります。
- **[Standalone AP]** - このアクセス ポイントを自律型アクセス ポイントとして配備するには、このオプションを選択します。スタンドアロン AP は、仮想コントローラ AP に管理されません。またコントローラによって採用されません。



注 アクセス ポイントをコントローラまたはサービス プラットフォームに採用したい場合は、コントローラまたはサービス プラットフォームのレジデント UI を使用してアクセス ポイントに接続し、そのセットアップを行って、アクセス ポイントの設定を管理します。



注 アクセス ポイントをスタンドアロン AP として指定する場合、アクセス ポイントの CLI ではなく、UI を排他的に使用して、そのデバイス設定を定義することを推奨しています。CLI は複数のプロファイルを定義する機能をもちますが、UI はもちません。結果的に、管理者が問題に直面することなく、2つのインタフェースを共に使用してプロファイルを管理することはできません。

11. アクセスポイントが配備されている国の **[Country Code]** を選択します。アクセスポイントの設定時に適切な国を選択することは非常に重要な作業となります。なぜなら、これによって正しい運用チャネルが定義され、選択された国の法規に対する準拠が保証されるからです。本フィールドは、[Typical Setup Wizard] でのみ利用できます。

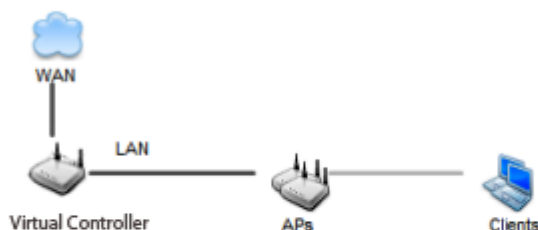


注 アクセスポイント AP-7562-67040-US は、国コードの一覧に米国を唯一のオプションとして表示します。

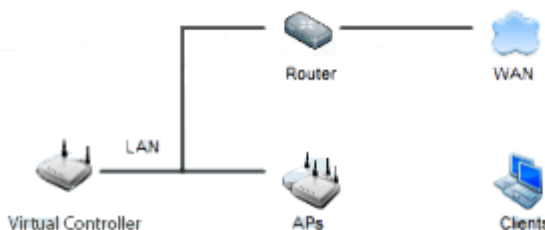
12. **[Next]** を選択して、アクセスポイントのネットワークモードを設定します。
13. [Typical Setup Wizard] には、アクセスポイントがどのようにネットワークトラフィックを処理するか定義するための **[Network Topology]** 画面が表示されます。

Network Topology

- ☒ Router Mode - the access point routes traffic between the wireless network and the Internet or corporate network (WAN).



- ☐ Bridge Mode - In Bridge Mode, the access point depends on an external router for routing LAN and WAN traffic. Routing is generally used on one device, whereas bridging is typically used in a larger density network. Thus, select Bridge Mode when deploying this access point with numerous peer APs supporting clients on both the 2.4 and 5GHz radio bands.



14. 選択可能なオプションから、[Access Point Mode] を選択します。

- **[Router Mode]** - ルータ モードでは、アクセス ポイントはローカル ネットワーク (LAN) とインターネットまたは外部ネットワーク (WAN) の間でトラフィックをルーティングします。ルータ モードは、単一のアクセス ポイントのみがサポートするデプロイ時に推奨されています。
- **[Bridge Mode]** - ブリッジ モードでは、アクセス ポイントは外部ルータに依存して LAN および WAN トラフィックをルーティングします。通常ルーティングは1台の機器で行われ、ブリッジングは大規模な高密度ネットワークで使用されます。2.4GHz および 5GHz の無線帯域両方でクライアントをサポートする数多くのピアアクセス ポイントを配備する際に、ブリッジ モードを選択してください。



注 ブリッジ モードが選択されると、WAN 設定を実行することはできず、[Typical Setup Wizard] には、WAN 設定画面は表示されません。

15. **[Next]** を選択します。[Typical Setup Wizard] には、アクセス ポイントの LAN インタフェース設定を行うための **[LAN Configuration]** 画面が表示されます。



LAN Configuration

Please configure interface settings for LAN (VLAN 1) which will be used by wireless clients



Use DHCP [What is this?](#)



Static IP Address/Subnet [What is this?](#)

192. 168. 13 . 23 / 24 *

DHCP Server



Use on-board DHCP server to assign IP addresses to wireless clients

Range 192. 168. 0 . 100 -- 192. 168. 0 . 200

Default Gateway 192. 168. 0 . 1

Domain Name Server (DNS)



DNS Forwarding

Primary DNS . . .

Secondary DNS . . .

16. LAN インタフェースのために、以下の DHCP および静的 IP アドレス / サブネットを設定します。

- **[Use DHCP]** - アクセス ポイントの DHCP サーバーを使用した自動ネットワーク アドレス構成を有効にするには、このチェックボックスを選択します。
- **[Static IP Address/Subnet]** - アクセス ポイントの LAN インタフェースの IP アドレスとサブネットを入力します。**[Use DHCP]** が選択されている場合、このフィールドは使用できません。本オプションを選択する場合、以下の **[DHCP Server]** および **[Domain Name Server (DNS)]** リソースを定義します。これらのフィールドは、画面下部で有効になります。
 - **[Use on-board DHCP server to assign IP addresses to wireless clients]** - アクセス ポイントの DHCP サーバーを使用して LAN インタフェース上のクライアントに IP および DNS 情報を提供できるようにするには、このチェックボックスを選択します。
 - **[Range]** - LAN インタフェース上のクライアントの割り当てに使用する開始 IP アドレスと終了 IP アドレスを入力します。x.x.x.1 ~ x.x.x.10 および x.x.x.255 の各 IP アドレスは、標準のネットワーク サービス用に予約されている場合が多いため、割り当てないでください。これは必須パラメータです。
 - **[Default Gateway]** - デフォルト ゲートウェイを使用するために、デフォルト ゲートウェイのアドレスを定義します。これは必須パラメータです。
- **[DNS Forwarding]** - DNS サーバーがドメイン名を IP アドレスに変換できるようにするには、このオプションを選択します。このオプションが選択されない場合、プライマリおよびセカンダリ DNS リソースを選択する必要があります。DNS 回送は、ドメイン名のリクエストが行われるものの、ドメイン名をそれに対応する IP アドレスに変換する役割を担う DNS サーバーが、一致する IP アドレスを特定できない場合に便利です。
 - **[Primary DNS]** - アクセス ポイント LAN インタフェース用 DNS サービスを提供するメインのドメイン ネーム サーバーの IP アドレスを入力します。
 - **[Secondary DNS]** - アクセス ポイント LAN インタフェース用 DNS サービスを提供するバックアップ用ドメイン ネーム サーバーの IP アドレスを入力します。

17. **[Next]** を選択します。[Typical Setup Wizard] には、アクセス ポイントのワイヤレス LAN インタフェース設定を行うための **[Wireless LAN Setup]** 画面が表示されます。

WLAN 1 WLAN 2

WLAN 1 Configuration

SSID [What is this?](#) ★

WLAN Type ☒ No Authentication and No Encryption [What is this?](#)

☐ Captive Portal Authentication and No Encryption [What is this?](#)

☐ PSK authentication, WPA2 encryption [What is this?](#)

18. 以下の WLAN1 構成変数を設定します。
- **[SSID]** - WLAN 用 SSID を設定します。
 - **[WLAN Type]** - この WLAN を使用するための暗号方式と認証方法を設定します。
 - **[No Authentication and No Encryption]** - 認証なしでネットワークを設定します。このオプションではまた、暗号化なしでネットワークを設定します。つまり、ネットワーク経由で送信されるデータはすべてプレーンテキストとなります。エンドポイント間の任意のデバイスは送信される情報を閲覧できます。これは、すべてのネットワーク設定においてもっとも安全性の低い設定です。
 - **[Captive Portal Authentication and No Encryption]** - RADIUS サーバーを使用するネットワークを設定し、ユーザーをネットワークに入れる前に認証します。いったんネットワークに入ると、ネットワークを通じて送信されるデータに暗号化は使用されません。このオプションは、(内部的または外部的にホストされる) Web ページを使用して、ネットワークへのアクセスを付与する前にユーザーを認証するために使用します。
 - **[PSK authentication, WPA2 encryption]** - PSK 認証または WPA2 暗号化を使用するネットワークを設定します。このオプションは、アクセス ポイントと WLAN を使用してリクエストを行うクライアント間で、正しく共有する必要のある事前共有キーを実装するために使用します。
19. **[Next]** を選択します。[Typical Setup Wizard] に、必要であれば、**[RADIUS Server Configuration]** 画面が表示されます。

そうでない場合、[Typical Setup Wizard] には、**[Summary and Commit]** 画面が表示されます。

20. **[Radius Server Configuration]** 画面を使用して、オンボード RADIUS サーバーのユーザーを設定します。画面を使用して RADIUS ユーザーの追加、修正、削除を行います。

Some WLANs require authentication using the on-board RADIUS server. User accounts must be added for all users that should be authorized by the server.

Username	Description

21. **[Add User]** を選択し、ダイアログ ボックスを表示してユーザー情報を入力し、RADIUS サーバー ユーザー データベースに追加します。

Add User ×

Username *

Password *

Confirm Password *

Description

Create

Create & Close

Cancel

22. 以下のユーザー情報を入力します。
- **[Username]** - ユーザーを認証するのに使用するユーザー名を提供します。
 - **[Password]** - ユーザーを認証するのに使用するパスワードを提供します。
 - **[Confirm Password]** - **[Password]** 欄に入力されたのと同じパスワードを入力して、パスワードを確認します。
 - **[Description]** - RADIUS サーバー データベースで作成されたユーザーを特定するための説明を提供します。
23. RADIUS サーバー データベースにエントリを作成して、別のユーザーを追加するには、**[Create]** を選択します。RADIUS サーバー データベースにエントリを作成して、**[Add User]** ダイアログ ボックスを閉じるには、**[Create & Close]** を選択します。
24. **[RADIUS Server Configuration]** 画面で **[Modify User]** を選択して、RADIUS データベースの既存のユーザーに関する情報を修正します。ユーザー エントリを強調表示して、**[Modify User]** を選択します。



注 このダイアログで **[Username]** を修正することはできません。

25. **[RADIUS Server Configuration]** 画面で **[Delete User]** を選択して、RADIUS データベースから既存のユーザーに関する情報を削除します。ユーザー エントリを強調表示して、**[Delete User]** を選択します。
26. 表示されるダイアログ ボックスで **[Confirm]** を選択します。ユーザーのエントリが RADIUS データベースから削除されます。
27. RADIUS サーバー データベースでエントリの追加、修正または削除を行うことなくダイアログ ボックスを閉じるには、**[Cancel]** を選択します。

28. **[Next]** を選択します。[Typical Setup Wizard] に、[Typical Setup Wizard] を使って更新された画面 (ページ) と設定の概要を表示するための、**[Summary and Commit]** 画面が表示されます。

Access Point Type Page

Access Point Type Standalone AP

Networking Mode Page

Networking Mode Router Mode

LAN Configuration Page

LAN Configuration Type Static IP Address/Subnet

VLAN ID for the LAN Interface 1

Static IP Address/Subnet 192.168.13.23/24

WAN Configuration Page

WAN Configuration Type Use DHCP

Port to External GE1 Port

WLAN Configuration

ユーザーによる介入や追加の設定は必要ありません。これはデプロイの前に、アクセスポイントの更新された設定を検証するもう1つの方法です。ただし、初期設定の一部として意図されない設定が画面に表示される場合、ナビゲーションパネル内の任意の画面を再度選択して、その設定を修正することが可能です。

29. 設定が意図されたとおりに表示される場合は、**[Save/Commit]** を選択して、これらの設定をアクセスポイントの設定に実装します。概要により追加の設定が保証されている場合は、**[Navigational Panel]** から目的のページを選択するか、**[Back]** と **[Next]** ボタンを使って、目的の画面へスクロールします。

4 仕様

4.1 物理特性

寸法	9.0 インチ (L) x 10.0 インチ (W) x 2.6 インチ (H) 22.8 cm (L) x 25.4 cm (W) x 6.6 cm (H)
重量 (ユニット)	5.6lbs/2.54 Kg
筐体	屋外対応 IP67、ダイカスト アルミニウム、耐腐食性筐体、ASTM B117 に準拠した塩分、霧、錆への耐性有り
LED 動作確認表示	上部取り付け型 LED 2 個
アップリンク	2 ポート (GE1/GE2) 自動認識 10/100/1000BaseT イーサネット、GE1 LAN ポートは 802.3at
アンテナ コネクタ	6 N タイプ コンソール ポート
コンソール ポート	屋外対応 RJ 45 コンソール ポート
マルチ バンド セキュリティ センサー	屋外対応 24x7 ワイヤレス侵入防御システム (WIPS)

4.2 環境特性

動作温度	-22°F ~ 140°F/-30°C ~ 60°C
保管温度	-40°F ~ 140°F/-40°C ~ 60°C
動作湿度	5 ~ 95% RH (結露なきこと)
IP シーリング加工	IP 67
動作高度	8,000 フィート (12°C)
保管高度	30,000 フィート (28°C)
強風対応	150mph
静電気放電	15kV (大気放電)、8kV (接触放電)
動作時の衝撃	IEC60721-3-4、Class 4M3、MIL STD 810F
動作時の振動	IEC60721-3-4、Class 4M3

4.3 電源特性

動作電圧	DC36 ～ 57V
動作電流	802.3at モード時、48V で 375mA
統合 PoE	802.3af、802.3at

5 規制に関する情報

本機器は、Zebra Technologies Corporation ブランドとして認定されています。

Zebra の機器はすべて、販売地域の法令および規制に準拠するように設計されており、必要に応じてその旨を記載したラベルが貼付されています。

各言語での情報は、次の弊社 Web サイトでご確認ください。

www.zebra.com/support

Zebra の機器に変更または改変を加えた場合、Zebra Technologies による明示的な承認がある場合を除き、その機器を操作するお客様の権限が無効になる場合があります。

Zebra のデバイスは、専門家の手により無線電波出力が機器を使用する地域で許容されている最大出力を超えないように設計されています。

アンテナ：付属のアンテナ、または承認済みの交換用アンテナのみを使用してください。承認されていないアンテナを使用したり、不正改造や付属品の取り付けを行うと、損傷の原因となったり、規制違反となったりすることがあります。

5.1 無線に関する各国の承認

規制に関するマークは、使用する無線が、米国、カナダ、オーストラリア、ヨーロッパで承認されている機器に付けられています。

その他の国のマークについては、「適合宣言」文書 (DoC) を参照してください。この文書は、www.zebra.com/doc から入手できます。

注：ヨーロッパには、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、チェコ共和国、キプロス、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア共和国、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイスおよび英国が含まれます。

規制の承認を受けていない機器を操作することは違法です。

国の選択

機器を使用する国のみを選択してください。他の国を選択すると、この機器の操作自体が違法になります。

5.2 動作周波数 - FCC および IC

2.4GHz のみ

米国での 802.11 b/g 稼動時に使用できるチャンネルは 1 ～ 11 です。チャンネルの範囲はファームウェアにより制限されています。



注 5.15 ～ 5.25GHz の周波数帯で使用するすべての屋外用アンテナの EIRP は、30 度以上の仰角で 125mW EIRP (21dBm) を超えないようにする必要があります。

5.3 Industry Canada 宣言

注意 : 5150 ～ 5250MHz の周波数帯では、同一チャンネルのモバイル サテライト システムへの有害な電波干渉が発生する可能性を減らすために、この機器を屋内でのみ使用するようにしてください。高出力レーダーは、5250 ～ 5350MHz 周波数帯および 5650 ～ 5850MHz 周波数帯の一次ユーザー（優先順位が高い）として指定されており、LE-LAN 機器に干渉や損傷を起こす危険性があります。

Avertissement: Le dispositif fonctionnant dans la bande 5150-5250 MHz est réservé uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

Les utilisateurs de radars de haute puissance sont désignés utilisateurs principaux (c.-à-d., qu'ils ont la priorité) pour les bands 5250-5350 MHz et 5650-5850 MHz et que ces radars pourraient causer du brouillage et/ou des dommages aux dispositifs LAN-EL

5.4 健康および安全に関する推奨事項

5.4.1 無線機器の使用に関する警告

無線機器の使用に関わるすべての警告文をよくお読みください。

5.4.2 危険性のある環境

無線機器は、無線周波エネルギーを送信するため、医療用電子機器に影響を与える可能性があります。他の機器の近くに設置するときは、その機器に悪影響が及ばないことを確認することをお勧めします。

ペースメーカー

ペースメーカーの製造業者は、ペースメーカーへの干渉を防ぐため、ハンドヘルドの無線機器とペースメーカーを 15cm 以上離すように提言しています。この推奨内容は、Wireless Technology Research が独自に行った研究や推奨事項と一致しています。

ペースメーカーの使用者：

1. 無線機器の電源が入っている場合は、常に、ペースメーカーから 15cm 以上離してください。
2. 無線機器を胸ポケットに入れないでください。
3. ペースメーカーの誤作動の可能性を最小限にするため、ペースメーカーの植え込み部位と反対側の耳で通話してください。
4. 干渉が発生していると思われる場合は、機器をオフにしてください。

その他の医療機器

かかりつけの医師または医療機器の製造業者にお問い合わせのうえ、ワイヤレス製品が医療機器に干渉しないかどうか確認してください。

5.5 無線周波放射に関するガイドライン

無線周波放射の抑制 - 適切な使用

機器の操作は、必ず指示に従って行ってください。

国際的規格

この機器は、無線機器から発生する電磁場に人体がさらされた場合に関して、国際的に認知された標準値を満たしています。電磁場に人体がさらされた場合の「国際的」情報については、Zebra の「適合宣言」文書 (DoC) を参照してください。この文書は <http://www.zebra.com/doc> から入手できます。

無線機器から放射される電磁波エネルギーの安全性の詳細については、www.zebra.com/support を参照してください。

「Wireless Communications and Health」の下項目です。

ヨーロッパ

遠隔設置および単体設置アンテナについて

EU の無線周波放射制限値に準拠するため、遠隔地に設置されている外部アンテナ、または人体の近くの卓上に単体で設置されている外部アンテナは人体から 35cm 以上離して使用してください。

米国およびカナダ

Co-located statement

To comply with FCC RF exposure compliance requirement, the antenna used for this transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other transmitter/antenna except those already approved in this filling.

To satisfy US and Canadian RF exposure requirements, a transmitting device must operate with a minimum separation distance of 35 cm or more from a person's body.

Pour satisfaire aux exigences Américaines et Canadiennes d'exposition aux radiofréquences, un dispositif de transmission doit fonctionner avec une distance de séparation minimale de 35 cm ou plus de corps d'une personne.

5.6 電源

本機は、適切な機関が認定した 802.3af または 802.3at 準拠の電源、あるいは認定された電源 (タイプ番号 :PWRS-14000-247R または AP-PSBIAS-2P3-ATR、Class 2 または LPS (IEC60950-1、SELV) とマークされた直接プラグイン電源アダプタ) により動作します。その他の電源を使用した場合、本機器に対する承認事項はすべて無効になります。また、安全に使用できません。

5.7 無線電波干渉についての要件 - FCC



この機器は、FCC 規制第 15 部に定められた Class B デジタル機器に関する制限に従ってテストされ、これに準拠するものと認定されています。この制限は、この機器を住居内で使用する際に有害な電波干渉を起こさないために規定されたものです。この機器は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射する

可能性があります。指示に従わずに設置および使用した場合、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。ただし、これは特定の設置状況で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を引き起こし、機器の電源のオン / オフ操作によってそのことが確認できる場合、以下の方法を用いて、お客様ご自身で電波障害の解決を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または場所を変える
- 本機器と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに本機器を接続する
- 販売店またはテレビ / ラジオの専門技術者に相談する

5.7.1 無線送信機 (第 15 部)

この機器は、FCC 規制第 15 部に準拠しています。この機器の動作は次の 2 つの条件を前提としています。(1) この機器は有害な干渉を発生させません。(2) この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けます。

5.8 無線電波干渉についての要件 - カナダ

For RLAN Devices:

The use of 5 GHz RLAN's, for use in Canada, have the following restrictions:

- Restricted Band 5.60 - 5.65 GHz

This device complies with RSS 210 of Industry Canada. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Ce dispositif est conforme à la norme CNR-210 d'Industrie Canada applicable aux appareils radio exempts de licence. Son fonctionnement est sujet aux deux conditions suivantes: (1) le dispositif ne doit pas produire de brouillage préjudiciable, et (2) ce dispositif doit accepter tout brouillage reçu, y compris un brouillage susceptible de provoquer un fonctionnement indésirable.

Label Marking: The Term "IC:" before the radio certification only signifies that Industry Canada technical specifications were met

To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the *equivalent isotropically radiated power* (EIRP) is not more than that permitted for successful communication.

The device could automatically discontinue transmission in case of absence of information to transmit, or operational failure. Note that this is not intended to prohibit transmission of control or signaling information or the use of repetitive codes where required by the technology.

In compliance with respective local regulatory law, Access Point software provides professional installers the option to configure the antenna type and antenna gain for approved antennas.

This radio transmitter MODEL: AP-7562 has been approved by Industry Canada to operate with the antenna types listed below with the maximum permissible gain and required antenna impedance for each antenna type indicated. Antenna types not included in this list, having a gain greater than the maximum gain indicated for that type, are strictly prohibited for use with this device.

Le présent émetteur radio MODEL: AP-7562 a été approuvé par Industrie Canada pour fonctionner avec les types d'antenne énumérés ci-dessous et ayant un gain admissible maximal et l'impédance requise pour chaque type d'antenne. Les types d'antenne non inclus dans cette liste, ou dont le gain est supérieur au gain maximal indiqué, sont strictement interdits pour l'exploitation de l'émetteur.

Refer [AP-7562 Antenna Accessories on page 6](#) of this guide for a listing of the 2.4 and 5 GHz antennas initially approved for use with the AP-7562.

5.9 CE マークと欧州経済地域 (EEA)



EEA 地域で 2.4GHz 帯の無線 LAN を使用する場合、以下の制限があります。

- 最大無線送信電力 100mW EIRP、周波数範囲 2.400 ~ 2.4835GHz
- イタリア：屋外での使用は免許が必要

5.10 準拠の宣言

Zebra は、この機器が 1999/5/EC で要求されている条件と関連するその他の規定に準拠していることを宣言します。「適合宣言」文書は、www.zebra.com/doc から入手できます。

5.11 その他の国

オーストラリア

オーストラリアで、5.50 ~ 5.65GHz での 5GHz 帯の無線 LAN の使用は制限されています。

ブラジル (不要な放射 - 全製品)

AP-7562 に関する規制の宣言 - ブラジル

詳細については、次の Web サイトを参照してください。 <http://www.anatel.gov.br>

Declarações Regulamentares para AP-7562 - Brasil

Nota: A marca de certificação se aplica ao Transceptor, modelo AP-7562. Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Para maiores informações sobre ANATEL consulte o site: <http://www.anatel.gov.br>.

チリ

Este equipo cumple con la Resolución No 403 de 2008, de la Subsecretaria de telecomunicaciones, relativa a radiaciones electromagnéticas.

中国

通过访问以下网址可下载当地语言支持的产品说明书

www.zebra.com/support

确认进网标贴和证书真伪可查询网址

<http://www.tenaa.com.cn/>

香港

HKTA1039 に従い、5.15GHz ～ 5.35GHz の周波数帯は屋内操作専用です。

メキシコ

周波数範囲 : 2.450 ～ 2.4835GHz に制限

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

韓国

2400 ～ 2483.5MHz、または 5725 ～ 5825MHz を使用する無線機器について、次の 2 つの文言が表示されます。

무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음

당해 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

台灣

臺灣

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

無線接入點 (專業安裝)

1. 「本公司於說明書中提供所有必要資訊以指導使用者/安裝者正確的安裝及操作」警語。

並於該中文使用說明書及器材上標示

2. 「本器材須經專業工程人員安裝及設定，始得設置使用，且不得直接販售給一般消費者」警語。

「電磁波曝露量 MPE 標準值 $1\text{mW}/\text{cm}^2$ ，本產品使用時建議應距離人體：35 cm」。

ウクライナ

Дане обладнання відповідає вимогам технічного регламенту №1057, № 2008 на обмеження щодо використання деяких небезпечних речовин в електричних та електронних пристроях.

タイ

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้ มีความสอดคล้องตามข้อกำหนดของ กทช.

5.12 電気電子機器の廃棄処理規制 (WEEE)



English: For EU Customers: All products at the end of their life must be returned to Zebra for recycling. For information on how to return product, please go to: www.zebra.com/weee.

Français: Clients de l'Union Européenne: Tous les produits en fin de cycle de vie doivent être retournés à Zebra pour recyclage. Pour de plus amples informations sur le retour de produits, consultez: www.zebra.com/weee.

Español: Para clientes en la Unión Europea: todos los productos deberán entregarse a Zebra al final de su ciclo de vida para que sean reciclados. Si desea más información sobre cómo devolver un producto, visite: www.zebra.com/weee.

Български: За клиенти от ЕС: След края на полезния им живот всички продукти трябва да се връщат на Zebra за рециклиране. За информация относно връщането на продукти, моля отидете на адрес: www.zebra.com/weee.

Deutsch: Für Kunden innerhalb der EU: Alle Produkte müssen am Ende ihrer Lebensdauer zum Recycling an Zebra zurückgesandt werden. Informationen zur Rücksendung von Produkten finden Sie unter www.zebra.com/weee.

Italiano: per i clienti dell'UE: tutti i prodotti che sono giunti al termine del rispettivo ciclo di vita devono essere restituiti a Zebra al fine di consentirne il riciclaggio. Per informazioni sulle modalità di restituzione, visitare il seguente sito Web: www.zebra.com/weee.

Português: Para clientes da UE: todos os produtos no fim de vida devem ser devolvidos à Zebra para reciclagem. Para obter informações sobre como devolver o produto, visite: www.zebra.com/weee.

Nederlands: Voor klanten in de EU: alle producten dienen aan het einde van hun levensduur naar Zebra te worden teruggezonden voor recycling. Raadpleeg www.zebra.com/weee voor meer informatie over het terugzenden van producten.

Polski: Klienci z obszaru Unii Europejskiej: Produkty wycofane z eksploatacji należy zwrócić do firmy Zebra w celu ich utylizacji. Informacje na temat zwrotu produktów znajdują się na stronie internetowej www.zebra.com/weee.

Čeština: Pro zákazníky z EU: Všechny produkty je nutné po skončení jejich životnosti vrátit společnosti Zebra k recyklaci. Informace o způsobu vrácení produktu najdete na webové stránce: www.zebra.com/weee.

Eesti: EL klientidele: kõik tooted tuleb nende eluea lõppedes tagastada taaskasutamise eesmärgil Zebra'ile. Lisainformatsiooni saamiseks toote tagastamise kohta külastage palun aadressi: www.zebra.com/weee.

Magyar: Az EU-ban vásárlóknak: Minden tönkrement terméket a Zebra vállalatához kell eljuttatni újrahasznosítás céljából. A termék visszajuttatásának módjával kapcsolatos tudnivalókért látogasson el a www.zebra.com/weee weboldalra.

Svenska: För kunder inom EU: Alla produkter som uppnått sin livslängd måste returneras till Zebra för återvinning. Information om hur du returnerar produkten finns på www.zebra.com/weee.

Suomi: Asiakkaat Euroopan unionin alueella: Kaikki tuotteet on palautettava kierrätettäväksi Zebra-yhtiöön, kun tuotetta ei enää käytetä. Lisätietoja tuotteen palauttamisesta on osoitteessa www.zebra.com/weee.

Dansk: Til kunder i EU: Alle produkter skal returneres til Zebra til recirkulering, når de er udtjent. Læs oplysningerne om returnering af produkter på: www.zebra.com/weee.

Ελληνικά: Για πελάτες στην Ε.Ε.: Όλα τα προϊόντα, στο τέλος της διάρκειας ζωής τους, πρέπει να επιστρέφονται στην Zebra για ανακύκλωση. Για περισσότερες πληροφορίες σχετικά με την επιστροφή ενός προϊόντος, επισκεφθείτε τη διεύθυνση www.zebra.com/weee στο Διαδίκτυο.

Malti: Għal klijenti fl-UE: il-prodotti kollha li jkunu waslu fl-aħħar tal-ħajja ta' l-użu tagħhom, iridu jiġu rritornati għand Zebra għar-riċiklaġġ. Għal aktar tagħrif dwar kif għandek tirritorna l-prodott, jekk jogħġbok żur: www.zebra.com/weee.

Românesc: Pentru clienții din UE: Toate produsele, la sfârșitul duratei lor de funcționare, trebuie returnate la Zebra pentru reciclare. Pentru informații despre returnarea produsului, accesați: www.zebra.com/weee.

Slovenski: Za kupce v EU: vsi izdelki se morajo po poteku življenjske dobe vrniti podjetju Zebra za reciklažo. Za informacije o vračilu izdelka obiščite: www.zebra.com/weee.

Slovenčina: Pre zákazníkov z krajín EU: Všetky výrobky musia byť po uplynutí doby ich životnosti vrátené spoločnosti Zebra na recykláciu. Bližšie informácie o vrátení výrobkov nájdete na: www.zebra.com/weee.

Lietuvių: ES vartotojams: visi gaminiai, pasibaigus jų eksploatacijos laikui, turi būti grąžinti utilizuoti į kompaniją „Zebra“. Daugiau informacijos, kaip grąžinti gaminį, rasite: www.zebra.com/weee.

Latviešu: ES klientiem: visi produkti pēc to kalpošanas mūža beigām ir jānogādā atpakaļ Zebra otrreizējai pārstrādei. Lai iegūtu informāciju par produktu nogādāšanu Zebra, lūdzu, skatiet: www.zebra.com/weee.

Türkçe: AB Müşterileri için: Kullanım süresi dolan tüm ürünler geri dönüştürme için Zebra'ya iade edilmelidir. Ürünlerin nasıl iade edileceği hakkında bilgi için lütfen şu adresi ziyaret edin: www.zebra.com/weee.

5.13 トルコ - 準拠に関する WEEE 声明

EEE Yönetmeliğine Uygundur

6 サポート

本機器に問題が発生した場合は、お客様の地域のサポートにお問い合わせください。

お問い合わせ先は、<http://www.zebra.com/support> に記載されています。

サポートへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号

サポートが、サービス契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスで
お問い合わせに対応いたします。ご使用の製品をビジネス パートナーから購入された場合、
サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

カスタマー サポート Web サイト

サポート サイトの URL: www.zebra.com/support

開発ツール、ソフトウェアのダウンロード、製品マニュアル、オンライン修理依頼などの
情報およびオンライン サポートを提供しています。

マニュアル

www.zebra.com/support

7 Symbol Technologies エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約

このエンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約 (以下「本エンドユーザー使用許諾契約」) は、Symbol Technologies Inc. (以下「Symbol Technologies」) の独自のソフトウェア、またはソフトウェアが内蔵、プリロードもしくはインストールされている Symbol Technologies 製品 (以下「本製品」) の提供を受けたエンドユーザーであるお客様と、Symbol Technologies との間で締結されます。本エンドユーザー使用許諾契約には、Symbol Technologies が、エンドユーザーであるお客様に提供するライセンスの条件、およびエンドユーザーであるお客様による本ソフトウェアと本文書の使用に関する規定が定められています。お客様、またはお客様が代表する組織 (以下「エンドユーザーであるお客様」) は、本ソフトウェアを使用、ダウンロードまたはインストールすることにより、本エンドユーザー使用許諾契約に拘束されることに同意することとなり、本エンドユーザー使用許諾契約の当事者となります。

1. 定義

「本文書」とは、技術上および性能上の特長と機能を記載した製品およびソフトウェアに関する文書、ならびに本ソフトウェアのユーザー マニュアル、操作マニュアルおよびトレーニング マニュアルを意味します (これらの情報を提供するために使用される物理または電子メディアをすべて含む)。

「オープン ソース ソフトウェア」とは、変更のためのソース コードライセンスを自由に入手することが可能なソフトウェア、または無償配布が許可されているソフトウェアを意味します。

「オープン ソース ソフトウェア ライセンス」とは、オープン ソース ソフトウェアのライセンス付与に適用される条件を意味します。

「本ソフトウェア」は、(i) オブジェクト コード形式の独自ソフトウェア、および当該ソフトウェアの改作、翻訳、逆コンパイル、逆アセンブル、エミュレーション、または二次的著作物を意味するとともに、(ii) Symbol Technologies が提供したソフトウェアの変更、強化、新バージョンおよび新リリースを意味し、(iii) 第三者のサプライヤが所有する特定のソフトウェア製品を含む場合があります。「本ソフトウェア」には、別のライセンスに基づき提供される第三者のソフトウェア、および本契約の条件に基づきライセンスを付与できない第三者のソフトウェアは含まれません。特定製品のパッケージに同梱されているか、特定製品とともに電子的に提供される別の使用許諾契約が存在し、当該使用許諾契約がエンドユーザーの同意の表示によって効力を生じる場合、当該製品のエンドユーザーによる使用については、当該使用許諾契約が本エンドユーザー使用許諾契約に優先します。

2. ライセンスの付与

- 2.1 本エンドユーザー使用許諾契約の規定に従うことを条件に、Symbol Technologies は、本ソフトウェアにおいて具体化されている Symbol Technologies の著作権および秘密情報に基づき、エンドユーザーであるお客様に対し、エンドユーザーであるお客様による本製品の使用に関連してのみオブジェクトコード形式の本ソフトウェアおよび本文書を使用する一身専属的、限定的、譲渡不能(第4条に定める場合を除く)、かつ非独占的なライセンスを付与します。本エンドユーザー使用許諾契約は、ソースコードに対する権利を付与するものではありません。
- 2.2 本エンドユーザー使用許諾契約に基づきライセンス付与される本ソフトウェアがオープンソースソフトウェアを含んでいるか、オープンソースソフトウェアから派生している場合、当該のオープンソースソフトウェアの使用に適用される条件は、その著作権者のオープンソースソフトウェア使用許諾の条件であり、本エンドユーザー使用許諾契約の条件ではありません。エンドユーザーであるお客様によるオープンソースソフトウェアの使用に適用されるオープンソースソフトウェア使用許諾の条件と、本エンドユーザー使用許諾契約の条件との間に矛盾がある場合、適用されるオープンソースソフトウェア使用許諾のライセンス付与条件が、本エンドユーザー使用許諾契約のライセンス付与条件に優先します。エンドユーザーであるお客様から要求があった場合、Symbol Technologies は、以下を行うために、商業上合理的な努力を行います。(i) 本エンドユーザー使用許諾契約に基づきオープンソースソフトウェアが提供されているかどうかを確認するため、(ii) オープンソースソフトウェアを特定し、適用されるオープンソースソフトウェア使用許諾のコピーをエンドユーザーであるお客様に提供するため(またはライセンスを入手できる場所を特定するため)、および(iii) オープンソースソフトウェアのソースコードが一般に入手可能な場合は、エンドユーザーであるお客様に、そのコピーを無償で提供するため(ただし、配布手数料が適用される場合があります)。

3. 使用の制限

- 3.1 エンドユーザーであるお客様は、本文書に従う場合に限り、かつエンドユーザーであるお客様の内部業務目的に限り、本ソフトウェアを使用することができます。本ソフトウェアのその他の使用は、固く禁じられ、本エンドユーザー使用許諾契約の違反とみなされます。前述の制限の一般的な性質を制限することなく、エンドユーザーであるお客様は、「タイムシェアリング」、「アプリケーションサービスプロバイダ」もしくは「サービスビューロ」方式、または他の類似する営利のレンタルもしくは共有サービスに基づいて、第三者に本ソフトウェアを使用させないものとします。

- 3.2 エンドユーザーであるお客様は、以下の行為を行わず、また、第三者による以下の行為を許可せず、または可能にしないものとします。(i) リバース エンジニアリング、逆アセンブル、コンポーネントの分離、逆コンパイル、プログラムの書き換え、その他の方法により、本ソフトウェアまたはその一部を、人間が認識可能な形式に変換すること、またはそのソース コードの改造を試みること、(ii) 本ソフトウェアの変更、改作、二次的著作物の作成、他の製品との結合を行うこと、(iii) 第三者に対して本ソフトウェアまたは本文書をコピー、複製、配布、貸与、リースすること、第三者に対して本ソフトウェアまたは本文書のサブライセンス、またはその他の権利を付与すること、本ソフトウェアまたは本文書が公知となるような行為を行うこと、(iv) Symbol Technologies の著作権表示や、その他の所有権表示を除去、または何らかの方法で変更もしくは隠蔽すること、(v) 第三者に対して本ソフトウェアまたは本文書を提供、コピー、転送、開示、漏洩し、または利用可能にすること、本ソフトウェアの第三者による使用、または本契約で明示的に許可されていないマシン上での使用を許可すること、(vi) 本ソフトウェアを格納するマシンを作動することによってのみ本ソフトウェアのコピーが作成されるような方法で本ソフトウェアを使用すること、またはこのような使用を許可すること。エンドユーザーであるお客様は、アーカイブ、バックアップ、または障害復旧を目的とする場合に限り、本ソフトウェアのコピーを1つだけ作成することができます。ただし、エンドユーザーであるお客様は、本ソフトウェアの原本とコピーを同時に運用することはできません。エンドユーザーであるお客様は、本ソフトウェアの内部使用に合理的に必要な数だけ、本文書のコピーを作成することができます。
- 3.3 Symbol Technologies が書面により別途許可する場合を除き、エンドユーザーであるお客様は、以下の行為を行わず、また、第三者による以下の行為を許可せず、または可能にしないものとします。(i) ライセンスを付与された本ソフトウェアのコピーを、複数台の本製品にインストールすること、(ii) 1 台の本製品にインストールされている本ソフトウェアを、別のデバイスにコピーまたは移転すること。
- 3.4 サイトライセンスが必要な本製品を購入する場合、エンドユーザーであるお客様は、当該ソフトウェアを使用するサイトごとに当該ソフトウェアのコピーを購入する必要があります。エンドユーザーであるお客様は、当該の各サイトにおいて所有または管理するコンピュータ 1 台につき、追加のコピーを1つ作成することができます。エンドユーザーであるお客様は、他のサイトのポータブル コンピュータまたはラップトップコンピュータで、本ソフトウェアを一時的に使用することができます。エンドユーザーであるお客様は、本ソフトウェアを使用するサイト、または使用することを予定しているサイトをすべて記載したリストを書面で提出する必要があります。

4. 譲渡

- 4.1 エンドユーザーであるお客様は、Symbol Technologies の書面による事前同意がない限り、本ソフトウェアまたは本文書を第三者に譲渡できません。Symbol Technologies は、その裁量により、同意を保留することができます。また、譲受人が、適用されるライセンス料を全額支払うこと、および本エンドユーザー使用許諾契約に拘束されることに同意することを、Symbol Technologies の同意の条件とすることができます。

5. 所有権および権原

- 5.1 Symbol Technologies、そのライセンサ、およびサプライヤは、本ソフトウェアおよび本文書に関するあらゆる形式の財産権をすべて保持します。この財産権には、本ソフトウェアおよび本文書に関する特許、特許出願、発明、著作権、商標、営業秘密および商号に関するすべての権利、ならびにその他の財産権が含まれますが、これらに限定されません。本エンドユーザー使用許諾契約においてエンドユーザーであるお客様に明示的に付与される権利を除き、何らかの権利が、本契約に基づき、黙示、禁反言、その他によって、お客様に付与されることはありません。本ソフトウェア、本製品、本文書または関連サービスの提供に関連して Symbol Technologies が開発、考案または作成したすべての知的財産は、常に Symbol Technologies のみに帰属します。エンドユーザーであるお客様は、開発、その他の知的財産権を共有することはできません。

6. 秘密保持

- 6.1 エンドユーザーであるお客様は、本ソフトウェアには重要な専有情報と営業秘密が含まれていること、および本ソフトウェアの無許可の配布、頒布、変更、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、その他の不適切な使用は、Symbol Technologies に、金銭的損害賠償では不十分な回復不能の損害をもたらすことを認めるものとします。したがって、エンドユーザーであるお客様は、エンドユーザーであるお客様の内部業務目的で本ソフトウェアを使用する必要がある従業員および代理人に限り、本ソフトウェアへのアクセス許可するものとします。

7. メンテナンスおよびサポート

- 7.1 本エンドユーザー使用許諾契約に基づき、メンテナンスまたはサポートが提供されることはありません。メンテナンスまたはサポートは、利用可能な場合、本ソフトウェアのメンテナンスおよびサポートに関する別途契約に基づき提供されます。

8. 限定保証および責任の制限

- 8.1 適用される保証書、本文書、またはその他のメディアに別段の規定がある場合を除き、Symbol Technologies は、Symbol Technologies による本ソフトウェアの出荷時点において、および前述の保証書等に定められている期間中またはエンドユーザーであるお客様への本ソフトウェアの当初の出荷から 120 日間、本ソフトウェアが適切にインストールおよび / または使用されている場合、本ソフトウェアに Symbol Technologies の公開仕様と大幅に異なる再現可能な欠陥が存在しないことを保証します。Symbol Technologies は、エンドユーザーであるお客様による本ソフトウェアまたは本製品の使用に、中断またはエラーが生じないこと、および本製品が、エンドユーザーであるお客様の特定の要件を満たしていることを保証するものではありません。
- 8.2 本保証の違反に関する Symbol Technologies の全責任、およびエンドユーザーであるお客様の唯一の救済は、Symbol Technologies の選択により、本ソフトウェアの修復もしくは交換、またはエンドユーザーであるお客様の実際の損害額の賠償に制限されます。後者の場合、賠償額は、本ソフトウェアを内蔵しているか本ソフトウェアが提供されている個別製品または本ソフトウェアの代金として Symbol Technologies に支払われた金額を上限とします。本保証は、最初のエンドユーザーであるお客様にのみ適用されます。その後の譲受人は、本ソフトウェアを「現状のまま」、無保証で譲り受ける必要があります。Symbol Technologies は、明示、黙示を問わず、他のすべての保証を否認します。これには、商品性、権利非侵害、および特定目的への適合性に関する黙示保証が含まれますが、これらに限定されません。
- 8.3 Symbol Technologies は、いかなる場合でも、法により否認することが認められる最大の範囲で、特別損害、付随的損害、結果的損害について、その可能性を通知されていた場合でも、責任を負いません。この損害には、使用不能損失、時間の損失、データの損失、不便な状態、商業的損失、逸失利益、節約機会の損失が含まれますが、これらに限定されません。本項の制限は、限定的救済の本来の目的が達成されない場合でも適用されます。

9. 契約期間および終了

- 9.1 本ソフトウェアを使用すること（本製品上での使用を含むが、これに限定されない）により、エンドユーザーであるお客様は、本エンドユーザー使用許諾契約に同意したことになります。エンドユーザーであるお客様の本ソフトウェアの使用権は、Symbol Technologies が本ソフトウェアおよび本文書を提供している本製品の全使用期間にわたって存続します。ただし、エンドユーザーであるお客様が本エンドユーザー使用許諾契約に違反した場合、Symbol Technologies は、本エンドユーザー使用許諾契約、およびエンドユーザーであるお客様の本ソフトウェアと本文書の使用権を直ちに終了することができます。また、エンドユーザーであるお客様が本エンドユーザー使用許諾

契約に違反する意図があると信じるに足る理由がある場合、Symbol Technologies は、エンドユーザーであるお客様に対する通知をもって、エンドユーザーであるお客様の本ソフトウェアの使用権を終了することができます。

- 9.2 本ソフトウェアの使用権が終了した場合、Symbol Technologies は、損害を証明することなく、即時差し止めによる救済を得る権利を有します。また、エンドユーザーであるお客様が主権を有する政府の機関である場合を除き、Symbol Technologies は、エンドユーザーであるお客様が保持する本ソフトウェアのすべてのコピーを回収する権利を有します。エンドユーザーであるお客様の本ソフトウェアの使用権の終了後 30 日以内に、エンドユーザーであるお客様は、当該ソフトウェアのすべてのコピーを Symbol Technologies に返却したこと、または破棄したことを、Symbol Technologies に対して書面で証明する必要があります。

10. 米国政府のライセンス条項

- 10.1 本条は、エンドユーザーであるお客様が米国政府または米国政府機関である場合に適用されます。エンドユーザーであるお客様による、Symbol Technologies の著作権または営業秘密権に基づく本ソフトウェアおよび本文書の使用、複製、開示には、FAR 52.227-19 (1987 年 6 月) の「Commercial Computer Software-Restricted Rights (商用コンピュータ ソフトウェアの制限付き権利)」条項の第 (c)(1) および (2) 項に定められている制限が適用される場合があります。ただし、本ソフトウェアおよび本文書が国防総省に提供されている場合を除きます。本ソフトウェアおよび本文書が国防総省に提供されている場合、エンドユーザーであるお客様による本ソフトウェアおよび本文書の使用、複製、開示には、DFARS 252.227-7013 (1988 年 10 月) の「Rights in Technical Data and Computer Software (技術データおよびコンピュータ ソフトウェアの権利)」条項の第 (c)(1)(ii) 項に定められている制限付き権利が適用される場合があります。本ソフトウェアおよび本文書には、制限付き権利に関する通知、または本エンドユーザー使用許諾契約について言及するその他の通知が含まれていることも、含まれていないこともあります。本エンドユーザー使用許諾契約の規定は、引き続き適用されますが、前述の FAR および DFARS の規定 (個々の調達機関および調達取引に応じていずれかが適用される) に基づきエンドユーザーであるお客様に提供される権利と矛盾しない範囲に限られます。

11. 全般

- 11.1 **著作権表示。**本ソフトウェアの著作権表示の存在は、本ソフトウェアまた本ソフトウェアに関連する営業秘密の一般開示の許可または推定と解釈されてはなりません。
- 11.2 **法令遵守。**エンドユーザーであるお客様は、本ソフトウェアに、米国の法令が適用されることを認めるものとします。また、エンドユーザーであるお客様は、米国の輸出関連法令を含む、すべての適用法令を遵守するものとします。エンドユーザーであるお客様は、Symbol Technologies および該当の米国政府当局からの許可を事前に得ることなく、米国政府または米国政府の機関が当該行為時点で輸出許可またはその他の政府承認を義務付けている地域内において何者かに対し販売されまたはその他の方法により提供された物品、技術データ、直接製品または間接製品を、直接的な方法によるか間接的な方法によるかにかかわらず、いかなる態様であれ輸出もしくは再輸出、販売、転売、出荷もしくは再出荷または転用してはならないものとします。この規定の違反は、本契約の重大な違反となります。
- 11.3 **第三者受益者。**本エンドユーザー使用許諾契約は、Symbol Technologies、およびエンドユーザーであるお客様の利益のためにのみ締結されます。いかなる第三者も、本契約に基づき何らかの権利を請求または主張する権利を有しません。また、いかなる第三者も、本エンドユーザー使用許諾契約の受益者とはみなされません。前述の規定にかかわらず、本ソフトウェアに第三者のソフトウェアが含まれる場合、当該ソフトウェアのライセンスまたはサプライヤは、本エンドユーザー使用許諾契約の意図された、直接的な第三者受益者となります。
- 11.4 **放棄。**当事者が何らかの権利または救済を放棄した場合でも、当該当事者が他の権利または救済を放棄したものとはみなされません。
- 11.5 **譲渡。**Symbol Technologies は、エンドユーザーであるお客様に通知することなく、かつエンドユーザーであるお客様の同意を得ることなく、本エンドユーザー使用許諾契約に基づきいずれかの権利を譲渡し、いずれかの義務を下請業者に委託し、または本ソフトウェアの権利に担保を設定し、もしくは売却することができます。
- 11.6 **訴因。**エンドユーザーであるお客様が、本エンドユーザー使用許諾契約に基づき訴訟を提起する場合、訴因の発生後1年以内に、これを提起しなければなりません。ただし、保証請求の場合は、適用される保証期間内に申し立てる必要があります。
- 11.7 **完全合意および契約の修正。**本エンドユーザー使用許諾契約は、エンドユーザーであるお客様の本ソフトウェアおよび本文書の使用に関する両当事者間のすべての合意事項を記載したものです。本エンドユーザー使用許諾契約は、両当事者が署名した書面によらない限り修正することはできません。ただし、Symbol Technologies は、適用法令を遵守するために必要な場合、本エンドユーザー使用許諾契約を変更することができます。

- 11.8 **準拠法。**本エンドユーザー使用許諾契約は、米国デラウェア州の法律に準拠します。ただし、エンドユーザーであるお客様が主権を有する政府の機関である場合、本エンドユーザー使用許諾契約は、適用される範囲で同法に準拠し、それ以外の場合は、本ソフトウェアの出荷先である国の国内実体法に準拠します。国際物品売買契約に関する国際連合条約の条件は適用されません。統一コンピュータ情報取引法、同法の改定版、または実質的に類似する法律（総称して、以下「**UCITA**」）が本契約に基づく当事者の履行に適用されることになった場合、UCITA は、本エンドユーザー使用許諾契約、または本エンドユーザー使用許諾契約に基づき付与されるライセンス、または本エンドユーザー使用許諾契約に基づく当該当事者の権利もしくは義務に適用されません。準拠法は、UCITA の適用前に実施されていた法律とします。
- 11.8 **紛争の解決。**エンドユーザーであるお客様が主権を有する政府の機関である場合を除き、本エンドユーザー使用許諾契約に起因または関連する紛争は、専属的管轄裁判所であるデラウェア州の州立裁判所および連邦裁判所（以下「**デラウェア裁判所**」）に付託されるものとします。また、各当事者は、当該紛争の訴訟に関し、デラウェア裁判所の専属的管轄権に取消不能の形で従うものとします。各当事者は、デラウェア裁判所で提起された裁判、訴訟、法的手続きにおいて、当該当事者がデラウェア裁判所の管轄権の適用を受けない、またはデラウェア裁判所が不便な裁判地である、またはデラウェア裁判所が不適切な裁判地であるという主張または抗弁を取消不能の形で放棄し、かかる主張または抗弁を行わないことに同意するものとします。

8 AP-7562 シリーズの ROHS 準拠

部 件 名 称 (Parts)	有害物質					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
金属部件 (Metal Parts)	X	O	O	O	O	O
电路模块 (Circuit Modules)	X	O	O	O	O	O
电缆及电缆组件 (Cables and Cable Assemblies)	X	O	O	O	O	O
塑料和聚合物部件 (Plastic and Polymeric Parts)	O	O	O	O	O	O
光学和光学组件 (Optics and Optical Components)	O	O	O	O	O	O
电池 (Batteries)	O	O	O	O	O	O

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。

O: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。

X: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572 规定的限量要求。(企业可在此处, 根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明。)

この表は、中国 RoHS の要件に準拠するために作成されました。



Zebra Technologies Corporation
Lincolnshire, IL 60069 USA

Zebra および Zebra ヘッド グラフィックは、ZIH Corp の登録商標です。Symbol ロゴは、Zebra Technologies の一部門である Symbol Technologies, Inc. の登録商標です。

© 2015 Symbol Technologies, Inc.

